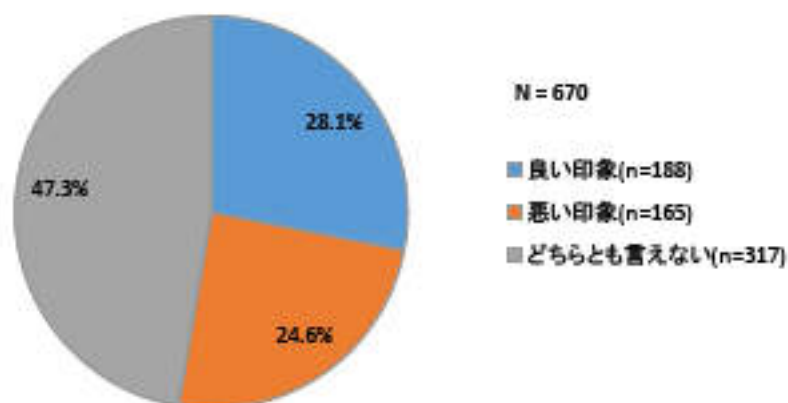


2. 家族等向け調査

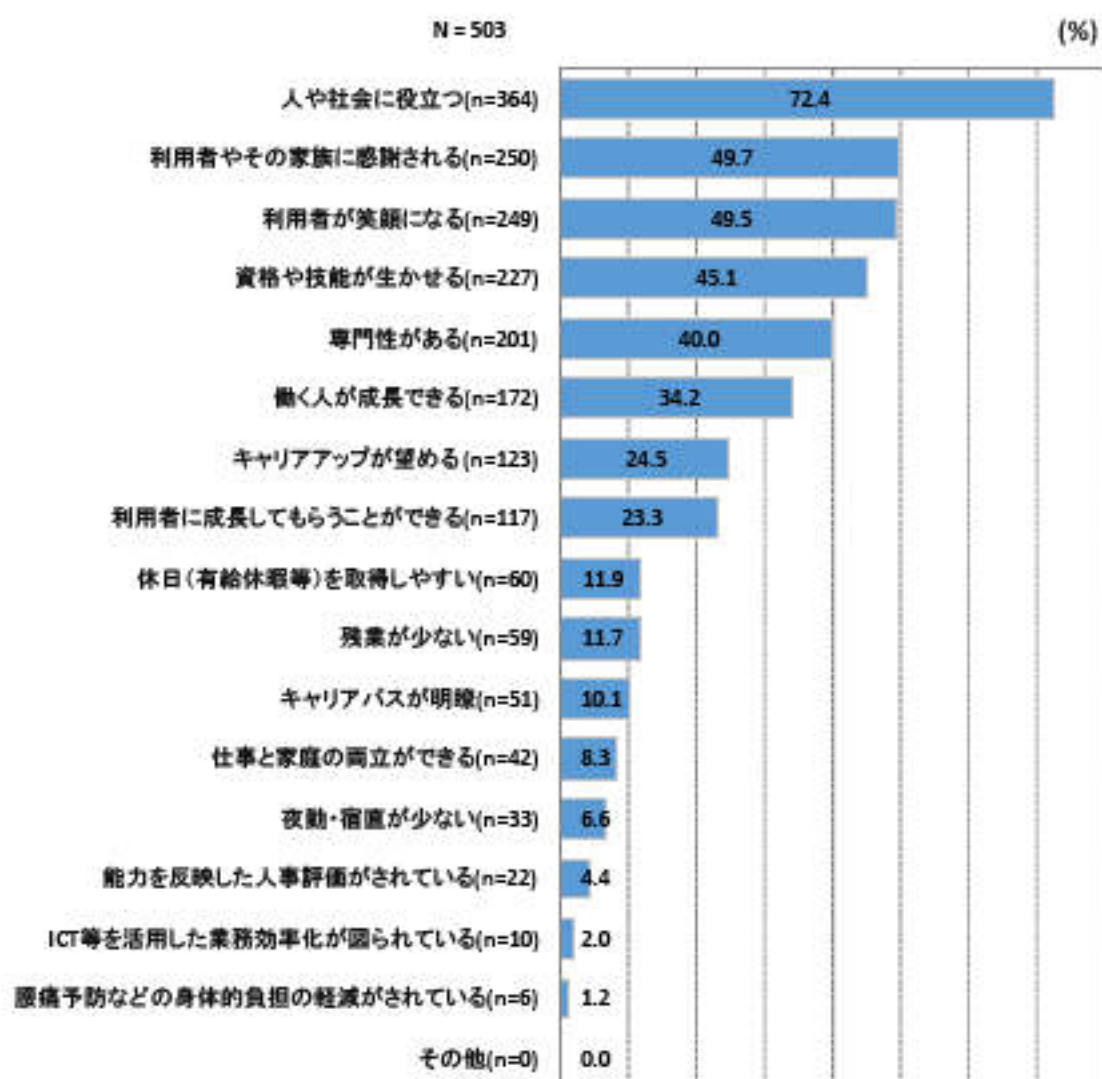
問3 福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「福祉の仕事や労働環境にどのような印象を持っているか」について、最も多いのは「どちらとも言えない」で317件(47.3%)となっており、次いで「良い印象」が188件(28.1%)、「悪い印象」が165件(24.6%)となっている。



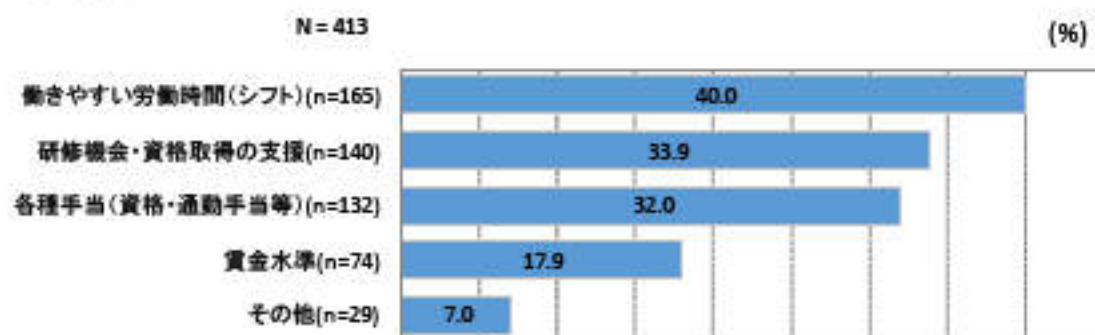
問3-1 問3で「1」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や労働環境のどこに良い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・「福祉の仕事や労働環境のどこに良い印象を持っているか」について、最も多いのは「人や社会に役立つ」で 364 件（72.4%）となっており、次いで「利用者やその家族に感謝される」が 250 件（49.7%）、「利用者が笑顔になる」が 249 件（49.5%）となっている。
- ・一方で、「仕事と家庭の両立ができる」は 43 件（8.3%）となっており、ワークライフバランスに課題がある。



問3-2 問3で「1」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や就労条件のどこに良い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・「福祉の仕事や就労条件のどこに良い印象を持っているか」について、最も多いのは「働きやすい労働時間（シフト）」で165件（40.0%）となっており、次いで「研修機会・資格取得の支援」が140件（33.9%）、「各種手当（資格・通勤手当等）」が132件（32.0%）となっている。



【その他回答】

【就労条件】

現在息子が働いている部署で夜勤がない / 全体的にしっかりしている

【やりがい】

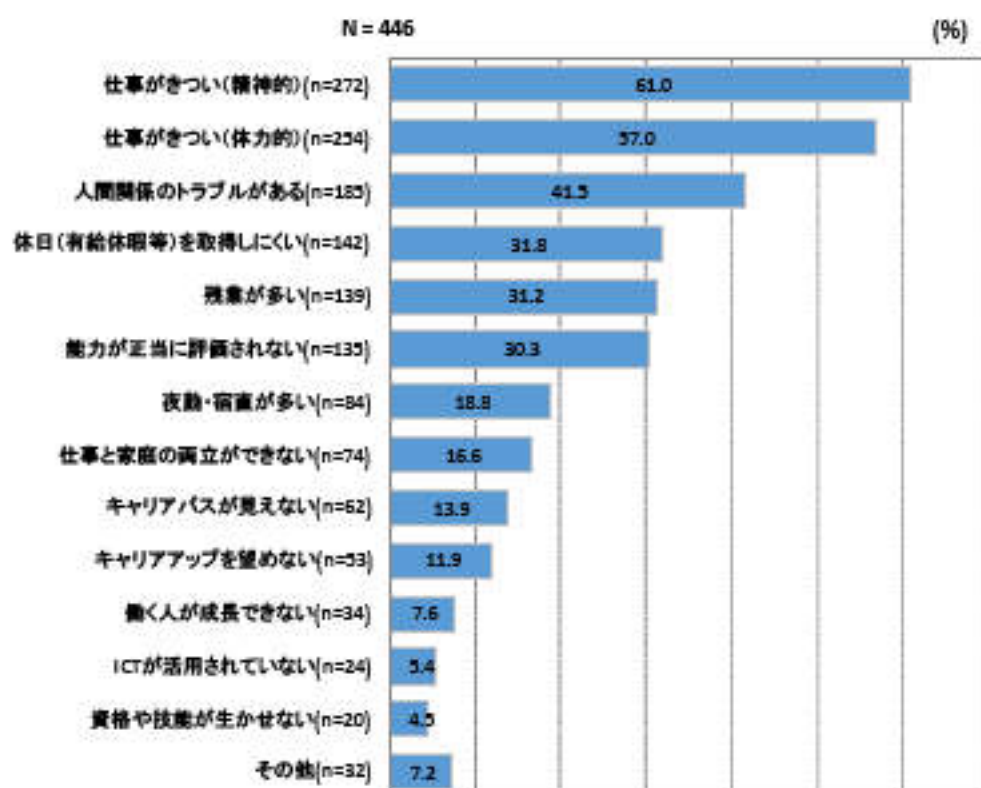
やりがい / 誰にでもできる仕事ではないから / 利用者さんにとって必要な部分のフォローが出来る事 / 社会貢献 / 資格を活かせる職場が多い

【その他】

仕事が多くなる / 人に感謝されるというだけ / 就労条件は良いと思いません / あまり良い印象がない

問3-3 問3で「2」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や労働環境のどこに悪い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・「福祉の仕事や労働環境のどこに悪い印象を持っているか」について、最も多いのは「仕事がきつい(精神的)」で272件(61.0%)となっており、次いで「仕事がきつい(体力的)」が254件(57.0%)、「人間関係のトラブルがある」が185件(41.5%)となっている。



【その他回答】

【就労条件】

多くの命を預かっているのに給料が安い / 賃金水準が安い上に重労働 / 看護専門職等より賃金水準が低い / 時間になったら一斉にタイムカードを切るので残業費が1円も出ない / 仕事時間外に利用者の買い物をする必要があり、無給労働かつ燃料費用も自己負担 / 休憩がとれないこともあり、仕事をこなせる人ほど不利な職場である

【労働環境】

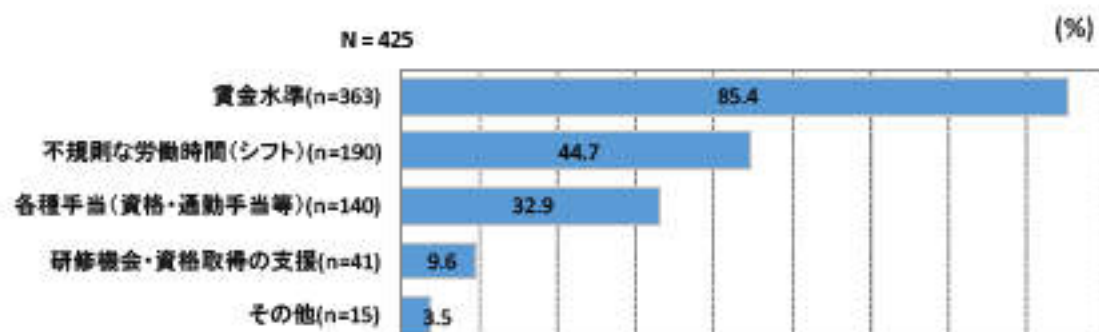
職場の設備が悪い(壊れているものを治さない)、新しくならない / 就業時間内に出来ない作業が全て家に持ち帰り、結果夜更けまで無償で仕事をするようになる姿を多々目にしている / 負担が大きい / 職員が不足している / 夜勤を1人でやっている

【その他】

従業員の善意に頼った運営に経営者の質の低さが伺える / 若い職員のサポート体制を強化して欲しい / 最低な仕事だと考えています / 月一回の家での講習は意味がわからない。会社で時間を作ってやって欲しい / 連続した休暇が取れない / 夏休み、冬休みが無い

問3-4 問3で「2」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や就労条件のどこに悪い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・「福祉の仕事や就労条件のどこに悪い印象を持っているか」について、最も多いのは「賃金水準」で 363 件（85.4%）となっており、次いで「不規則な労働時間（シフト）」が 190 件（44.7%）、「各種手当（資格・通勤手当等）」が 140 件（32.9%）となっている。



【その他回答】

【就労条件】

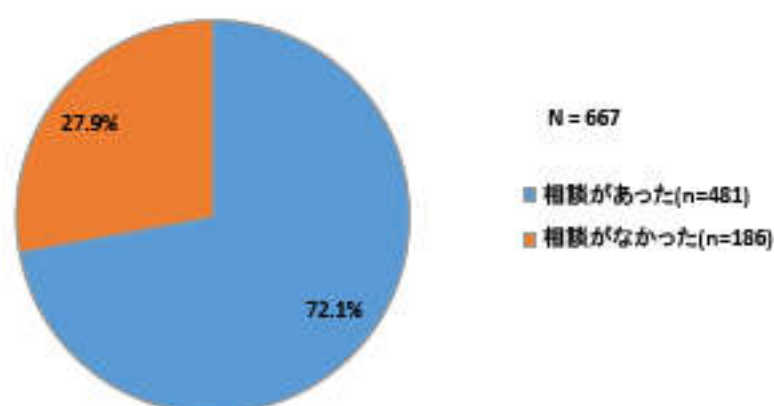
賃金が低い / 勤続年数が増えても、お給料やボーナスが増えていない事に驚いた / 贈答品の買い出しなどの時間外手当、交通費が無いこと / 労基法を遵守する意識が低すぎる

【労働環境】

自宅での仕事が多い / 休みを取る際、代替りの人を探すのに苦勞していた。会社でやって下さい。従業員足りてますか？ / 体の負担軽減がない / 管理者が年配の肩を持ち若い人の意見を聞いてくれない

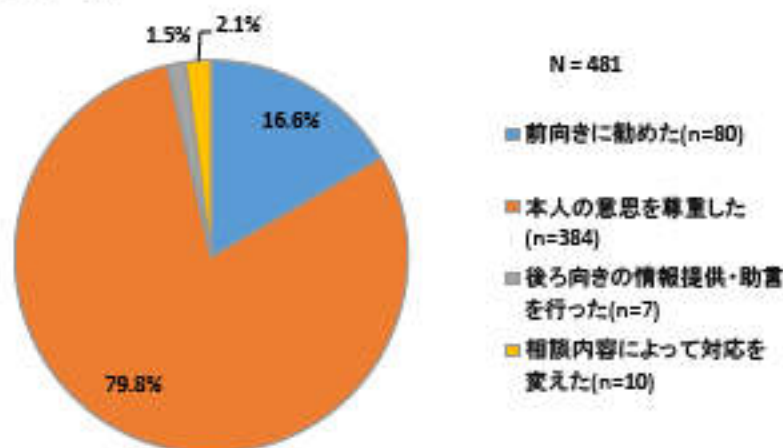
問4 福祉職場で働く方が福祉の仕事を受職先と決める際、相談がありましたか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「福祉職場で働く方が福祉の仕事を受職先と決める際、相談があったか」について、「相談があった」が 481 件（72.1%）、「相談がなかった」が 186 件（27.9%）となっている。



問4-1 問4で「1」を選んだ方のみお答えください。福祉職場で働く方から相談があった際、どのようにお答え・アドバイスをしましたか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「福祉職場で働く方から相談があった際、どのようにお答え・アドバイスをしたか」について、最も多いのは「本人の意思を尊重した」で384件（79.8%）となっており、次いで「前向きに勧めた」が80件（16.6%）、「相談内容によって対応を変えた」が10件（2.1%）となっている。



問4-2 問4-1で「3」「4」を選んだ方のみお答えください。理由をお聞かせください。
 （例：夜勤など労働時間が不規則で、体力的に厳しいため反対した。福祉業界の就職には賛成だが、その法人で働く親戚から職場の話聞いて反対した。）【FA】

- ・福祉業界の労働環境や賃金の低さ、就労条件の厳しさに対する懸念が多く見られる。また、仕事内容の責任感や精神的・身体的負担についても指摘されている。理想と現実のギャップや対人関係の不安から、職場選びやキャリアについて慎重に考えるよう助言がされている。

【労働環境や就労条件への懸念】

- ・福祉施設は、残業が多くても、手当がもらえないことがほとんど。労働時間、内容に対して、賃金も安い。法人であっても、結局身内の経営。福利厚生も弱い。昇給も少ないため、将来が不安。なので、反対しました。
- ・労働と賃金のバランスは、よくない事。
- ・タイムカードを一斉に切る文化。仕事とプライベートの境界が曖昧。下の世話をするのに低賃金で社会的地位が低い。
- ・夜勤や労働時間が不規則な割には賃金が低く福利厚生が整っていないので心配した。本人は、優しい性格で利用者さんのお世話をできる仕事にやりがいを感じているが産休育休やその他の勤務条件を公務員と同じにしたい。

- ・仕事(職種)によっては見合う給与ではないなど助言した。
- ・同業者なので、これから家庭などを持つことを踏まえ、労働内容に見合う賃金がもらえないことを話し、別の職種も考えてみるように視野を広く持つことを助言した。
- ・福祉関係の道を進む親としてやり甲斐や利用者さんの笑顔が見られる事は素晴らしいけど賃金の安さが気になる身体的に負担が大きい、収支のバランス、自身のバランスをどう取るか等声掛けした。

【仕事内容の大変さや責任感】

- ・福祉業界で働くことは賛成だが、体力的にも精神的にも大変な仕事だと理解していなかったので良い点と悪い点を話した結果反対した。
- ・人の命を扱う仕事に責任を持てる自覚を確認。
- ・福祉業者の就業には賛成したが、医療と福祉の連携の難しさ、責任の重大さ、家族の我が侷、不規則な勤務への身体的負担などがあるので就業先の就業条件や就業形態などを就業企業より詳しく聴いておくことを勧めた。

【具体的なエピソードや状況】

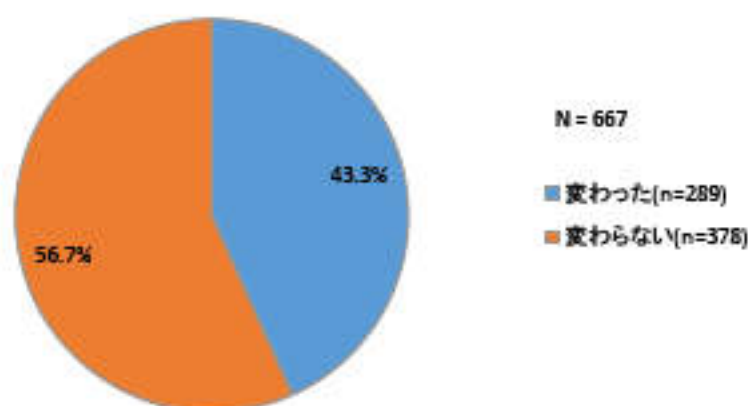
- ・親戚や知人に同業者がおり、退職している人が多い。本来の業務は希望している内容なのでやりがいはあるだろうが、家族とのやり取りや、書類作成・制作物に追われる事があり、大変である事を伝えた。
- ・労働状況によっては転職を考える事を提案した上で、まずは勤務してみてはどうかと話した。
- ・福祉関係の知人に話を聞き要約して伝え、本人が考え、本人の反応を見ることで判断できるものがあると考えたから。
- ・研修先で知り合った職員に、自身の転職先の人員確保に利用されるだけの勧誘だと伝えた。
- ・反対はしていませんが理想と現実の違いは論じました。

【精神的な負担や対人関係】

- ・対人関係に消極的な本人に福祉の仕事が務まるのか不安で別の仕事を勧めた。
- ・労働者を守るイメージがないから精神的にダメージを受けると思ったから。
- ・職場の環境や残業が多く見受けられることの内容を聞く限り、自分の周りの福祉業界で働く人との差を凄く感じ精神的にもきつそうなので反対しました。

問5 家族等が福祉職場に入職する前と入職した後では、福祉の仕事に対するイメージが変わりましたか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「家族等が福祉職場に入職する前と入職した後では、福祉の仕事に対するイメージが変わったか」について、「変わった」が289件(43.3%)、「変わらない」が378件(56.7%)となっている。



問5-1 問5で「1」を選んだ方のみお答えください。どのように変わったか教えてください。
 (例：労働条件が良い・悪い、身体的・精神的負担が小さい・大きい、DXが進んでいるなど)【FA】

件数		
ポジティブな変化	ネガティブな変化	その他の変化
112	146	13

ポジティブな変化

【就労条件・環境】

- ・本人の話から、職場環境は悪くないと感じた。
- ・前職と比べると環境は良いように感じます。
- ・職場環境が良い。
- ・労働条件が良い、モチベーションがあがる環境。
- ・労働条件が良い。社会的信用度がある。
- ・各種手当が充実している。
- ・労働条件が良い、賃金が見合っている。

【本人の成長】

- ・本人の成長を感じる。
- ・精神的に成長した。
- ・人が成長する。
- ・スキルアップだけでなく、精神的に成長できる。
- ・本人が人間として成長した。

【やりがい】

- ・やりがいがある。
- ・やりがいを感じる仕事だが、働く方の精神的負担も多いと感じた。

【身体的負担】

- ・身体的に楽になっている。
- ・身体的負担が少ない。

【その他】

- ・明るく意欲的になった。
- ・本人が楽しそう。
- ・笑顔になった。
- ・体調が良くなった。
- ・精神的余裕ができた。
- ・有給がとりやすい。

ネガティブな変化

【就労条件・環境】

- ・労働条件や賃金条件が悪い。
- ・労働時間が長い。
- ・持ち帰りの残業が多い。
- ・サービス残業が多い。
- ・DX推進が進んでいない。
- ・賃金が少なくボーナスが確約されていない。
- ・賃金が業務内容に比べて低すぎる。

【精神的、身体的負担が大きい】

- ・精神的負担の大きさなどが想像以上だった様子が見られ心配である。
- ・精神的に追い詰められる。
- ・身体的、精神的負担が大きい。

【仕事量】

- ・作業量が多い。
- ・やることが多い。
- ・仕事内容が多すぎて負担が多いと思います。

【その他】

- ・入社前の説明と異なる箇所がある。
- ・就労人員が少ないことを痛感した。その為、休暇取得を遠慮する等、個人の負担が大きい。

その他の変化

- ・福祉職場で働くことの素晴らしい面と改善すべき面が分かるようになった。
- ・コミュニケーションの取り方、人と話す時の対応の仕方など。

問5-2 問5で「2」を選んだ方のみお答えください。元々どのようなイメージだったか教えてください。

(例：労働条件が良い・悪い、身体的・精神的負担が小さい・大きい、DXが進んでいるなど)【FA】

件数		
ポジティブなイメージ	ネガティブなイメージ	その他のイメージ
54	235	30

ポジティブなイメージ

【就労条件・環境】

- ・労働環境が良い。
- ・労働条件が良い。
- ・働きやすい環境だと感じていた。

【社会貢献】

- ・人の役に立つ仕事。
- ・社会貢献できる。
- ・自身が成長できる環境。
- ・人を成長させる仕事。

【やりがい】

- ・やりがいのある職種。
- ・大変なイメージだけどやりがいがある。

【本人の成長】

- ・本人も日々成長できる。

ネガティブなイメージ

【就労条件・環境】

- ・労働条件が悪い。
- ・労働環境が悪そう。
- ・労働条件があまり良くない。
- ・労働条件が悪く、精神的に辛い思いをする。
- ・身体・精神的にキツイ仕事にも関わらず賃金が低すぎる。
- ・賃金が仕事内容に見合っていない。

【身体的・精神的負担】

- ・身体的負担が大きい。
- ・精神的負担が大きい。

【人間関係】

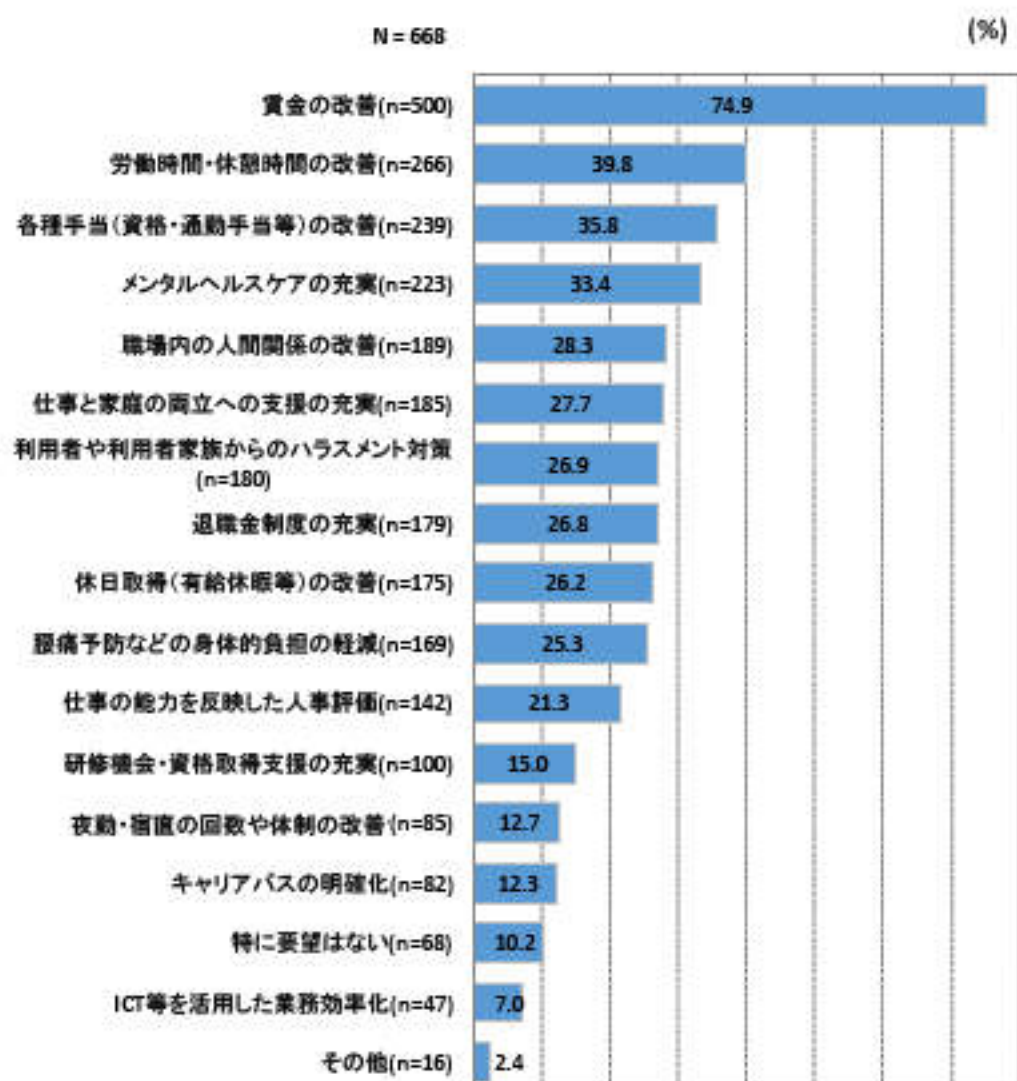
- ・人間関係が悪い。
- ・人間関係が大変そう。
- ・ハラスメントがすごい。

その他のイメージ

- ・専門知識を求められる職業。

問6 福祉の仕事（業界）に対する要望はありますか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・「福祉の仕事（業界）に対する要望はあるか」について、最も多いのは「賃金の改善」で500件（74.9%）となっており、次いで「労働時間・休憩時間の改善」が266件（39.8%）、「各種手当（資格・通勤手当等）の改善」が239件（35.8%）となっている。
- ・「労働時間・休憩時間の改善」と「休日取得（有給休暇等）の改善」の双方を回答があったのは121件となり、労働環境への負担軽減に対する要望が高いこともうかがえる。
- ・「利用者や利用者家族からのハラスメント対策」が180件（26.9%）で比較的高い要望となっている。



【その他回答】

【人員】

人員不足の改善 / 配置基準が少なすぎる

【労働環境】

夏の調理場の暑さの対策 / 休憩 / 仮眠環境の改善 / 訪問時等の安全対策 / 利用者からの暴力

【就労条件】

シフト時間 / 残業費を一分単位で要求する / 福利厚生の充実 / 怪我に対する対応 / 保証の充実 / 業務時間外での利用者のモノの買い出しに燃料費用や残業費を出さないなんてありえない

【仕事量や働き方】

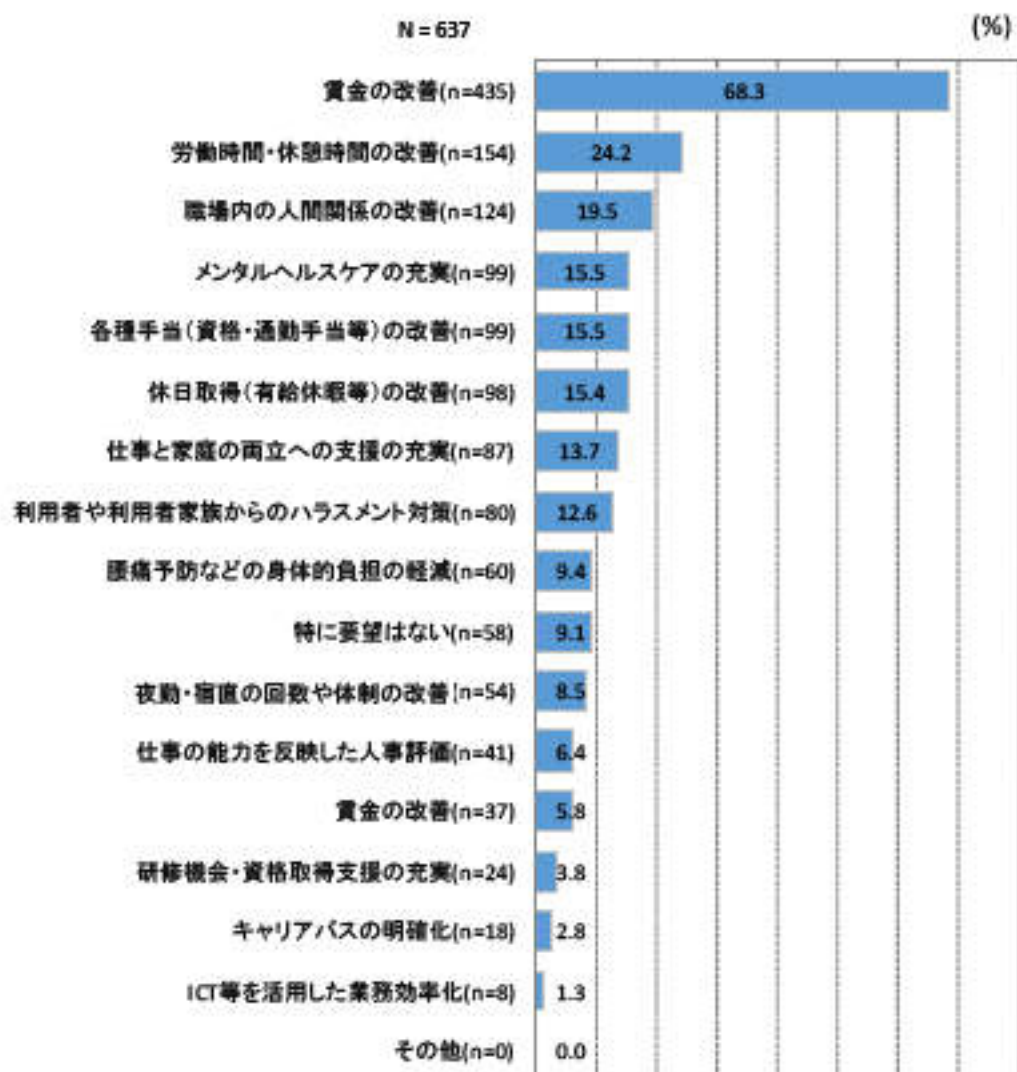
仕事量など / 役職はあると思うが平等であってほしい / 仕事をこなせる人や、何も不満を言えない人もいるのだから、それが当たり前にならずみんなが同じ仕事が出来れば負担が分散されるとおもいます。

【その他】

相談や指導してくださる専門の職員がいるとよい / 今すぐ辞めてもらいたい / 法律とか制度が目まぐるしく変わるご時世なので、それに迅速に対応していただきたい / 感染症対策として職員のユニホームは職場での洗濯

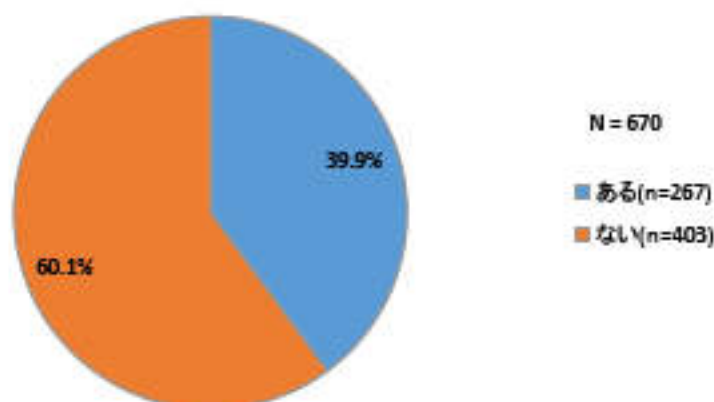
問6-1 問6で選んだ回答の中でも、特に重視する番号を最大3つまで選んでください。
 【MA】

- ・「福祉の仕事に対する特に重視する要望」について、最も多いのは「賃金の改善」で435件（68.3%）となっており、次いで「労働時間・休憩時間の改善」が154件（24.2%）、「職場内の人間関係の改善」が124件（19.5%）となっている。
- ・問6から重視する番号を抽出した本設問では、「職場内の人間関係の改善」が、より上位の項目となっている。



問7 ご自身が家族などの介護の経験はありますか。次から1つだけ選んでください。
【SA】

- ・「自身が家族などの介護の経験はあるか」について、「ある」が267件(39.9%)、「ない」が403件(60.1%)となっている。



福祉の仕事への印象×介護経験の有無

- ・福祉の仕事や労働環境への印象と介護経験の有無の関連を見ると、26.6%が福祉の仕事や労働環境に対して良い印象を持っており、24.3%が悪い印象を持っている。また、49.1%がどちらとも言えないと回答している。
- ・介護経験がない人では、28.9%が良い印象を持ち、24.9%が悪い印象を持っている。そして、46.3%が「どちらとも言えない」と回答している。
- ・介護経験の有無に関わらず、福祉の仕事や労働環境に対する印象は「どちらとも言えない」が最も多いが、介護経験がある人の方が若干「どちらとも言えない」と回答する割合が高い。

上段:度数 下段:%		福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。			
		合計	良い印象	悪い印象	どちらとも言えない
ご自身が家族などの介護の経験はありますか。次から1つだけ選んでください。	全体	669	187	165	317
	ある	267	71	65	131
	ない	402	116	100	186
		100.0	28.0	24.7	47.4
		100.0	26.6	24.3	49.1
		100.0	28.9	24.9	46.3

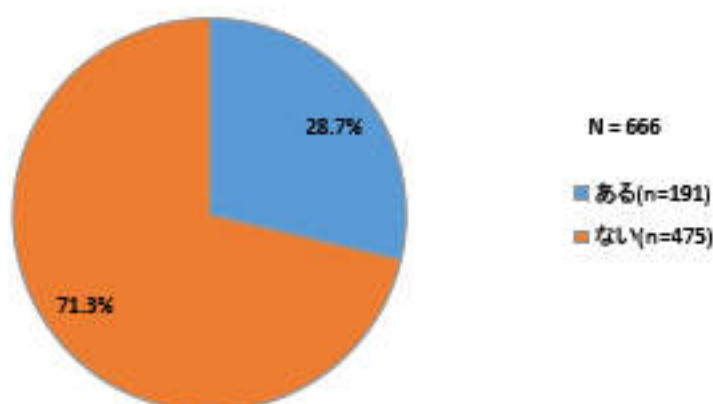
アドバイス×介護経験の有無

- ・相談があった場合のアドバイスと介護経験の有無の関連を見ると、21.3%が福祉職場で働く方からの相談に対して前向きに勧め、74.9%が本人の意思を尊重したと回答している。1.4%が後ろ向きの情報提供・助言を行い、2.4%が相談内容によって対応を変えたと答えている。
- ・一方、「介護経験がない」人では13.2%が前向きに勧め、83.5%が本人の意思を尊重したと答えている。1.5%が後ろ向きの情報提供・助言を行い、1.8%が相談内容によって対応を変えたと回答している。
- ・介護経験の有無に関わらず、相談に対する対応として「本人の意思を尊重した」が最も多いが、介護経験がある人の方が前向きに勧める割合が高い。

上段:度数 下段:%		問4で「1」を選んだ方。福祉職場で働く方から相談があった際、どのようにお答え・アドバイスをしましたか。次から1つだけ選んでください。				
		合計	前向きに勧めた	本人の意思を尊重した	後ろ向きの情報提供・助言を行った	相談内容によって対応を変えた
ご自身が家族などの介護の経験はありますか。次から1つだけ選んでください。	全体	480	80	383	7	10
		100.0	16.7	79.8	1.5	2.1
	ある	207	44	155	3	5
	100.0	21.3	74.9	1.4	2.4	
ない	273	36	228	4	5	
	100.0	13.2	83.5	1.5	1.8	

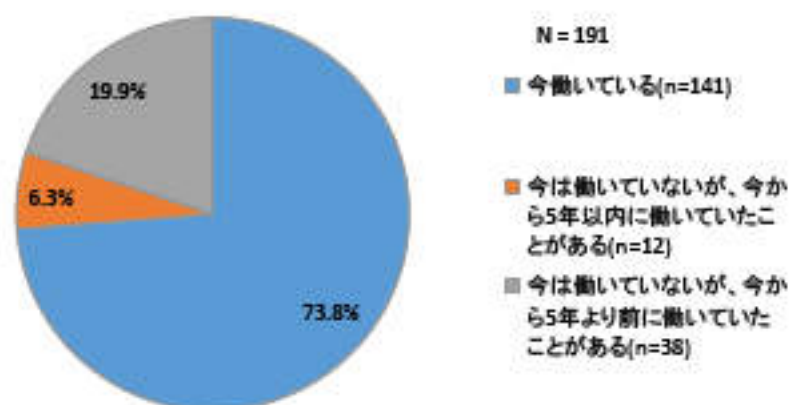
問8 福祉の仕事の経験はありますか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「福祉の仕事の経験はあるか」について、「ある」が191件(28.7%)、「ない」が475件(71.3%)となっている。



問8-1 問8で「1」を選んだ方のみお答えください。いつ頃、福祉の仕事で働いていましたか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「いつ頃、福祉の仕事で働いていたか」について、最も多いのは「今働いている」で141件（73.8%）となっており、次いで「今は働いていないが、今から5年より前に働いていたことがある」が38件（19.9%）、「今は働いていないが、今から5年以内に働いていたことがある」が12件（6.3%）となっている。



福祉の仕事等への印象×働いていた経験の有無・時期

- ・福祉の仕事や労働環境への印象と福祉の仕事で働いていた経験の有無・時期の関連を見ると、「今働いている」人のうち、31.9%が福祉の仕事や労働環境に対して良い印象を持ち、働いたことが「ない」人の27.4%を上回っている。
- ・「今から5年以内に働いていたことがある」人のうち、25.0%が福祉の仕事や労働環境に対して良い印象を持ち、33.3%が悪い印象を持っている。
- ・「今から5年より前に働いていたことがある」人では、23.7%が福祉の仕事や労働環境に対して良い印象を持ち、21.1%が悪い印象を持っている。
- ・直近で働いている人の方が良い印象を持っている。

上段:横軸		福祉の仕事や労働環境ごどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。			
下段:縦軸		合計	良い印象	悪い印象	どちらとも言えない
問8で「1」を選んだ方。いつ頃、福祉の仕事で働いていましたか。次から1つだけ選んでください。	全体	665 100.0	187 28.1	165 24.8	313 47.1
	ない	474 100.0	130 27.4	118 24.9	226 47.7
	今働いている	141 100.0	45 31.9	35 24.8	61 43.3
	今は働いていないが、今から5年以内に働いていたことがある	12 100.0	3 25.0	4 33.3	5 41.7
	今は働いていないが、今から5年より前に働いていたことがある	38 100.0	9 23.7	8 21.1	21 55.3

相談の有無×働いていた経験の有無・時期

- ・福祉の仕事を就職先と決める際の相談の有無と福祉の仕事で働いていた経験の有無・時期の関連を見ると、「今働いている」人のうち、73.0%が福祉職場で働く方が福祉の仕事を就職先と決める際に相談があったと回答し、27.0%は相談がなかったと回答している。
- ・「今から5年以内に働いていたことがある」人では、83.3%が相談があったと答え、16.7%が相談がなかったと回答している。
- ・「今から5年より前に働いていたことがある」人では、84.2%が相談があったと答え、15.8%が相談がなかったと回答している。
- ・福祉職場で働いていた時期に関わらず、多くの人が福祉の仕事を就職先と決める際に相談を受けていることが分かる。一方で、「今働いている」人や働いたことが「ない」人が相談を受ける割合が低くなっている。

上組:複数 下組:36		福祉職場で働く方が福祉の仕事を就職先と決める際、相談がありましたか。次から1つだけ選んでください。		
		合計	相談があった	相談がなかった
問8で「1」を選んだ方。つまり、福祉の仕事で働いていましたか。次から1つだけ選んでください。	全体	663 100.0	478 72.1	185 27.9
	ない	472 100.0	333 70.6	139 29.4
	今働いている	141 100.0	103 73.0	38 27.0
	今は働いていないが、今から5年以内に働いていたことがある	12 100.0	10 83.3	2 16.7
	今は働いていないが、今から5年より前に働いていたことがある	38 100.0	32 84.2	6 15.8

アドバイス×働いていた経験の有無・時期

- ・相談があった場合のアドバイスと福祉の仕事で働いていた経験の有無・時期の関連を見ると、働いた経験が「ない」人は、福祉職場で働く方から相談があった際に「本人の意思を尊重した」と回答した人が83.2%で、働いた経験がある人よりも高い。また、「前向きに勧めた」と回答した人は最も低い14.7%となっている。
- ・「今働いている」人のうち、72.8%が福祉職場で働く方から相談があった際に「本人の意思を尊重した」と回答し、22.3%が「前向きに勧めた」と答えている。
- ・「今から5年以内に働いていたことがある」人のうち、80.0%が福祉職場で働く方から相談があった際に「本人の意思を尊重した」と回答し、20.0%が「相談内容によって対応を変えた」と答えている。
- ・「今から5年より前に働いていたことがある」人では、25.0%が「前向きに勧めた」と答え、65.6%が「本人の意思を尊重した」と回答している。

上級職数		問4で「1」を選んだ方。福祉職場で働く方から相談があった際、どのように答え・アドバイスをしましたか。次から1つだけ選んでください。				
		合計	前向きに勧めた	本人の意思を尊重した	前向きな情報提供・助言を行った	相談内容によって対応を変えた
問4で「1」を選んだ方。福祉職場の仕事で働いていましたか。次から1つだけ選んでください。	全体	478	80	381	7	10
		100.0	16.7	79.7	1.5	2.1
	ない	333	49	277	2	5
		100.0	14.7	83.2	0.6	1.5
	今働いている	103	23	75	3	2
		100.0	22.3	72.8	2.9	1.9
今は働いていないが、今から5年以内に働いていたことがある	10	-	8	-	2	
	100.0	-	80.0	-	20.0	
今は働いていないが、今から5年以上前に働いていたことがある	32	8	21	2	1	
	100.0	25.0	65.6	6.3	3.1	

問9 福祉の職場がより魅力的に見えるようにするために必要なこと（情報提供その他）、ご意見を自由にお聞かせください。

（例：給料、労働時間・休日・休暇、仕事内容、職場の雰囲気）【FA】

- ・福祉業界における主要な問題点として、賃金の低さ、人手不足、労働条件の改善、労働環境の改善が挙げられる。多くのコメントで賃金の向上を求めており、現行の給与では生活が厳しい、仕事量に見合わないとの意見が目立つ。また、人手不足により業務が過重になりがちであり、有給休暇の取得が難しい状況が続いている。労働条件の改善としては、休憩時間の確保や有給休暇の適切な取得、サービス残業の解消が求められている。さらに、労働環境では、職員間のコミュニケーションの充実や人間関係の改善が必要とされている。
- ・以上の改善により、福祉業界全体のイメージの向上と職員のモチベーション向上が期待される。

【就労条件】

- ・責任・仕事量にあった賃金。
- ・精神的、身体的にきつい仕事なので、それに見合った賃金が支払われる事が大切だと思う。福祉の仕事は社会にとって重要な仕事なので、賃金をもっと高く設定されれば、勤務する方達のやる気も上がると思う。
- ・本人は、やりがいを持って働いており、職場環境も良いと思うが、専門職として、もっと評価（賃金等）されるべきだと思う。
- ・国家資格なのに給料が安すぎるので上げて欲しい。
- ・ガソリンや物価が上がっているので、手当も上げて頂きたいです。
- ・研修等を取り入れ実力を反映させる仕組み。

【労働環境】

- ・福利厚生の充実。
- ・休憩時間の確保。
- ・有給休暇取得のしやすさ。
- ・適切な労働時間。
- ・無理のないシフト。
- ・メンタルヘルスケアの充実。
- ・ハラスメント対策。
- ・意見を持ちながら、それを言えないのが現状で、その環境にも問題があると思う。こういう問題が積み重なり、離職につながっていくのだと思う。
- ・年功序列の廃止（年齢、歴関係なく意見を言える環境）
- ・福祉に興味があり、働こうとする若者たちに独身のときだけでなく、結婚して家庭を持つようになってからでも働けるような職場があるといいです。
- ・求められる技術(ピアノや工作)が高いものと比較して職場からの支援が充実していない。

工作中で使う道具や材料が基本的に保育士負担となっているのはおかしい。

- ・先生達が家に帰って夜中まで仕事をしている現状は変えたほうがいいと思う。気が休まらないプレッシャーからの解放。
- ・仕事がつくても人間関係が良好であれば離職する人も減るので、職場の雰囲気改善は大切だと思います。
- ・職場内の悩みを相談し合える環境作り。
- ・宿直が多い。家族の理解がなければ結婚、出産後に続けて勤務することが難しい。
- ・残業時間の削減。
- ・帰宅時間が遅いことがあるが、作業が終わらなかったため、みんな残ってやっていた。タイムカードは退勤時に押しているが、無料残業だと聞いた。他の事業所では納期に追われて無料残業することがあると聞いたことがあるが、改善が必要だ。
- ・誰かが休んだ場合のフォローもしっかりできるようにする。

【情報・魅力発信】

- ・感謝されることをもっとアピールすること。
- ・利用者様とのやりとり、楽しんでいる会話など、SNSなどを活用して職場の雰囲気を発信していく。
- ・仕事内容のアピール(キャリア教育の活用、小学校高学年のゲストティーチャーなどで子どもたちに仕事のやりがいや喜びを伝えること)。
- ・給料が安いこと。
- ・小学生の時に認知症サポーターの出前講座を実施していただき、その時に養護教師より人生のメカニズムを学んだことを話していた。このように低年齢時に福祉の一部、職種、役割と触れていると後々の仕事として選択肢の1つになるのかなと考えます。
- ・報道機関等が客観的かつ積極的に福祉の現場の情報を社会に発信する必要があると思う。また、福祉の現場で問題が起きたなら、その後の解決への取り組みを継続して報道機関が発信することが重要だと思う。

【やりがい】

- ・福祉の業界は幅広いものですが、とても充実感の持てる職業でもあるので、初心を忘れず取り組んで欲しいと思う。

【仕事量】

- ・仕事内容に偏りをなくすことが必要。
- ・休日を返上してまでの仕事量の見直し。
- ・家庭との両立ができるように1人の負担を減らしてほしい。
- ・仕事内容の効率化が必要。

【人員】

- ・人員不足は人間関係が良好に築けなくなる要因です。それにより仕事に支障をきたし、怪我やトラブル・精神疾患・体調不良に繋がると思います。人員配置についての改善が必要だと思います。
- ・給料に反映されない持ち帰りの仕事が無くなるように、職場での事務仕事や製作時間を確保できるよう、人材不足を解消するべきだと思います。

【その他】

- ・管理者や、年配者がアップデートをし、仕事が円滑にできるようにする。
- ・労基法を遵守した園が当たり前にあると思われるように業界全体を正して行く必要がある。
- ・お昼ご飯をおいしくする。
- ・待機児童ゼロ。
- ・ベテラン層が古い考えにとらわれず、変化に対応できること。
- ・何もわからないので、意見できる立場にないと思っている。現職の人の意見を尊重すべき。
- ・新人教育や日々の仕事がマニュアルになっていて、誰でもムラなくその職場の基礎を教えやすくしてほしい。
- ・従事者への特典など還元（各施設の割引やサービスなどを付与する。例：体を酷使するのでマッサージ）。
- ・利用者の家族に今現在の状況をわかって欲しい。少ない職員でやっているからこそわかって欲しい。
- ・先生同士のイジメは絶対なくしてほしい。
- ・人と関わる仕事なので、人の気持ちを考えられる方が福祉業界に増えてほしいと思います。

3. ペア調査

【若手】家族へ相談した際の家族の意向×【家族等】福祉職場で働く方からの相談があった際のアドバイス

- ・若手職員が家族等に相談した場合、家族等が「前向きに勧めてくれた」と回答したのは512件（70.1%）だが、家族等が相談を受けた際に「前向きに勧めた」と回答したのは80件（16.3%）となり、それぞれの意図や受け取り方に大きな差異が生じた。

カテゴリ		件数	%
前向き	若手	512	70.1
	家族等	80	16.3
本人の意向を尊重	若手	196	26.8
	家族等	392	80.0
後ろ向き	若手	18	2.5
	家族等	8	1.6
その他	若手	4	0.5
	家族等	10	2.0

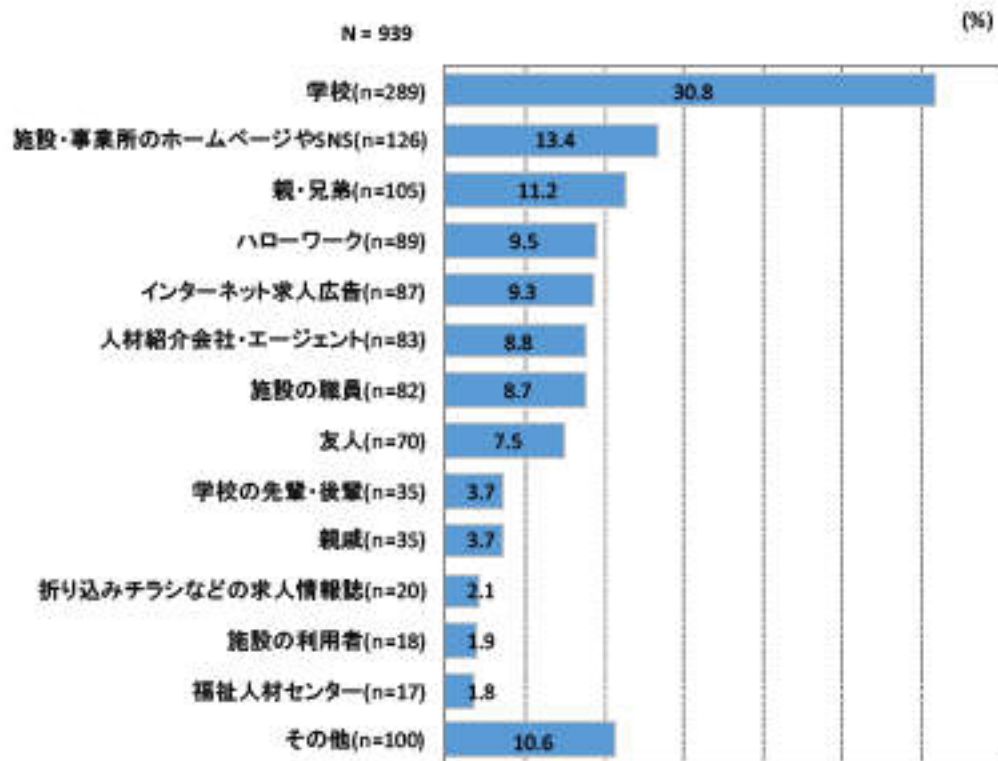
【若手】勤務先を決めたきっかけ×【家族等】福祉の仕事の経験の有無

- ・家族等に福祉の仕事の経験がある場合、若手職員が勤務先を決めたきっかけの、「親・兄弟」が16.5%と若手職員への調査の「勤務先を決めたきっかけ」（次頁グラフ参照）の11.2%を上回っている。
- ・一方で「学校」は25.9%で、若手職員への調査の「勤務先を決めたきっかけ」（次頁グラフ参照）の30.8%を下回る。

上段横軸 下段%		現在の勤務先を決めたきっかけは下記のいずれですか。当てはまるものを全て選んでください。							
		合計	福祉人材センター	ハローワーク	学校	学校の先輩・後輩	友人	親・兄弟	親戚
福祉の仕事の経験はありますか。次から1つだけ選んでください。	全体	512	8	44	165	20	34	60	12
	ある	139	4	12	36	6	10	23	5
	ない	373	4	32	129	14	24	37	7
		100.0	1.6	8.6	32.2	3.9	6.6	11.7	2.3
		100.0	2.9	8.6	25.9	4.3	7.2	16.5	3.6
		100.0	1.1	8.6	34.6	3.8	6.4	9.9	1.9

上段横軸 下段%		現在の勤務先を決めたきっかけは下記のいずれですか。当てはまるものを全て選んでください。						
		施設の利用者	施設の職員	施設・事業所のホームページやSNS	折り込みチラシなどの求人情報誌	インターネット求人広告	人材紹介会社・エージェント	その他
福祉の仕事の経験はありますか。次から1つだけ選んでください。	全体	10	54	86	11	39	35	59
	ある	3	14	21	2	7	8	18
	ない	7	40	65	9	32	27	41
		2.0	10.5	16.8	2.1	7.6	6.8	11.5
		2.2	10.1	15.1	1.4	5.0	5.8	12.9
		1.9	10.7	17.4	2.4	8.5	7.2	11.0

【若手】勤務先を決めたきっかけ(問12)



【若手】福祉の仕事を目指した理由×【家族等】福祉の仕事の経験の有無

- ・家族等に福祉の仕事経験がある場合、「身近に福祉の仕事をしている人がいたから」が41.0%と若手職員への調査の「福祉の仕事を目指した理由」（次頁グラフ参照）の21.2%を大きく上回っている、一方で、「福祉の仕事に興味があったから」は33.1%と若手職員への調査の「福祉の仕事を目指した理由」（次頁グラフ参照）の41.8%を大きく下回っている。

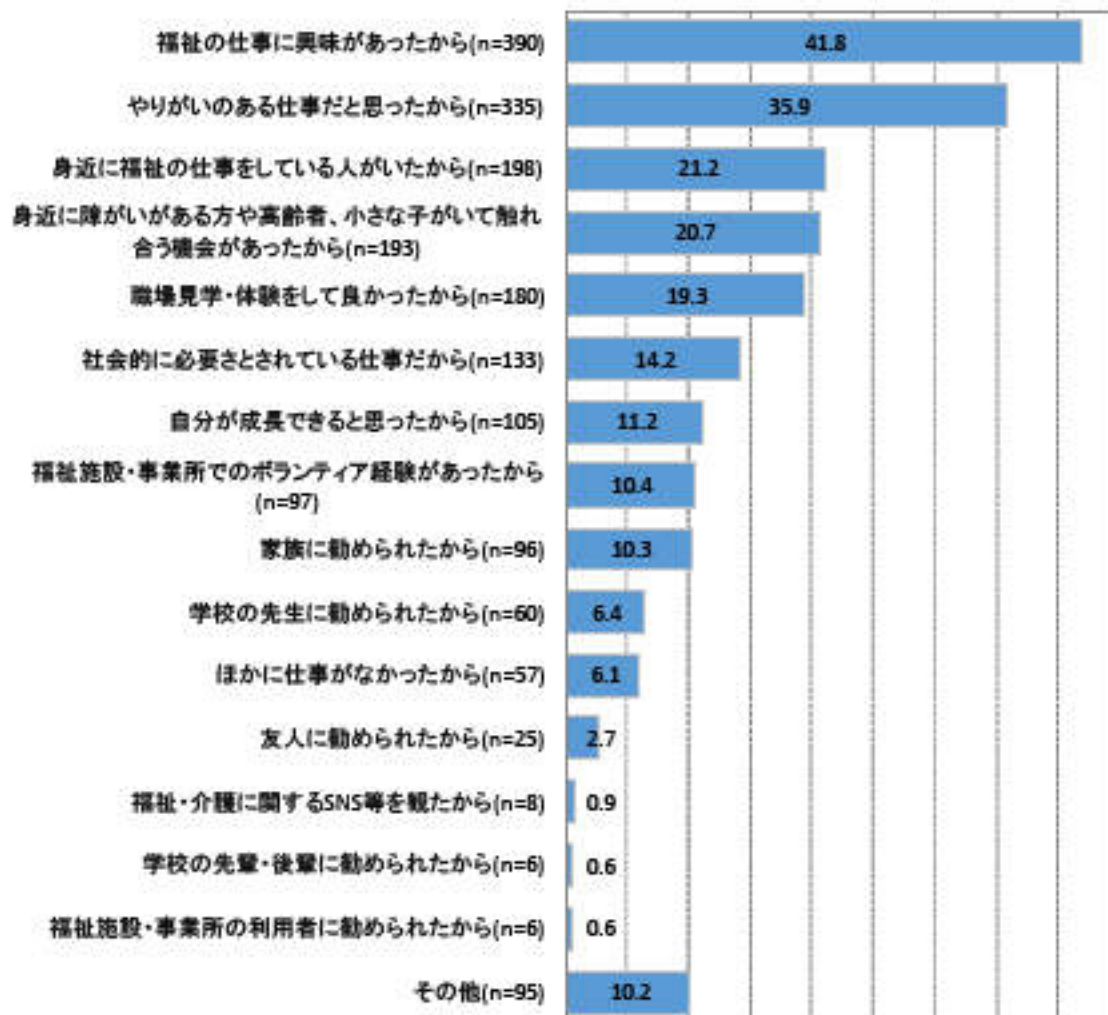
上総表		福祉の仕事を目指そうと思った理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。								
下総%		合計	福祉の仕事に興味があったから	やりがいのある仕事だと思ったから	身近に福祉の仕事をしている人がいたから	関心が高かったり、ボランティアやボランティア経験があったから	福祉施設・事業所でのボランティア経験があったから	職場見学・体験をして良かったから	学校の先生に勧められたから	学校の先輩・後輩に勧められたから
福祉の仕事の経験はありますか。次から1つだけ選んでください。	全体	511	210	197	99	114	58	117	30	2
		100.0	41.1	38.6	19.4	22.3	11.0	22.9	5.9	0.4
	ある	139	46	53	57	28	10	25	4	-
	100.0	33.1	38.1	41.0	20.1	11.5	18.0	2.9	-	
ない	372	164	144	42	86	40	92	26	2	
	100.0	44.1	38.7	11.3	23.1	10.8	24.7	7.0	0.5	

上総表		福祉の仕事を目指そうと思った理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。							
下総%		家族に勧められたから	友人に勧められたから	福祉施設・事業所の利用者に勧められたから	自分が成長できると思ったから	社会的に必要だとされている仕事だから	福祉・介護に関するSNS等を観たから	ほかの仕事を兼ねたから	その他
福祉の仕事の経験はありますか。次から1つだけ選んでください。	全体	52	16	2	57	80	5	26	57
		10.2	3.1	0.4	11.2	15.7	1.0	5.1	11.2
	ある	18	5	-	12	15	-	12	13
	12.9	3.6	-	8.6	10.8	-	8.6	9.4	
ない	34	11	2	45	65	5	14	44	
	9.1	3.0	0.5	12.1	17.5	1.3	3.8	11.8	

【若手】福祉の仕事を目指した理由(問14)

N = 934

(%)



【若手】相談相手の意向（家族等）×【家族等】福祉の仕事への印象

- ・全体では「前向きに勧めてくれた」が 68.0%、「最終的には本人の意向を尊重してくれた」が 27.7%、「後ろ向きの情報提供・助言をされた」が 3.4%となっている。
- ・家族等が福祉に対して「良い印象を持っている」と回答した人が、「前向きに勧めてくれた」と回答する割合が最も高くなっている。

上段:度数		【若手】問15で「1」を選んだ方のみお答えください。それぞれ、どのような意向でしたか。当てはまるものを全て選んでください。				
		下段:%	合計	前向きに勧めてくれた	最終的には本人の意向を尊重してくれた	後ろ向きの情報提供・助言をされた
【家族】福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。	全体	415 100.0	282 68.0	115 27.7	14 3.4	4 1.0
	良い印象	108 100.0	76 71.7	28 26.4	-	2 1.9
	悪い印象	108 100.0	71 67.0	24 22.6	9 8.5	2 1.9
	どちらとも言えない	203 100.0	135 66.5	63 31.0	5 2.5	-

【若手】相談相手の意向（家族等）×【家族等】家族などの介護経験有無

- ・全体では「前向きに勧めてくれた」が 68.0%、「最終的には本人の意向を尊重してくれた」が 27.7%、「後ろ向きの情報提供・助言をされた」が 3.4%となっている。
- ・家族等が「介護経験がある」場合と「介護経験がない」場合において、大きな差異は見られない。

上段:度数		【若手】問15で「1」を選んだ方のみお答えください。それぞれ、どのような意向でしたか。当てはまるものを全て選んでください。				
		下段:%	合計	前向きに勧めてくれた	最終的には本人の意向を尊重してくれた	後ろ向きの情報提供・助言をされた
【家族】ご自身が家族などの介護の経験はありますか。次から1つだけ選んでください。	全体	415 100.0	282 68.0	115 27.7	14 3.4	4 1.0
	ある	174 100.0	118 67.8	50 28.7	4 2.3	2 1.1
	ない	241 100.0	164 68.0	65 27.0	10 4.1	2 0.8

【若手】相談相手の意向（家族等）×【家族等】福祉の仕事をしてきた時期

- ・全体では、「前向きに勧めてくれた」が70.8%、「最終的には本人の意向を尊重してくれた」が24.2%、「後ろ向きの情報提供・助言をされた」が3.3%となっている。
- ・家族等が「5年より前に働いていた」場合、「前向きに勧めてくれた」が78.6%と最も高くなっており、「5年以内に働いていた」場合において、「後ろ向きの情報提供・助言をされた」が28.6%と最も高くなっている。

上段:度数 下段:%		【若手】問15で「1」を選んだ方のみお答えください。それぞれ、どのような意向でしたか。当てはまるものを全て選んでください。				
		合計	前向きに勧めてくれた	最終的には本人の意向を尊重してくれた	後ろ向きの情報提供・助言をされた	その他
【家族】問8で「1」を選んだ方のみお答えください。いつ頃、福祉の仕事で働いていましたか。次から1つだけ選んでください。	全体	120 100.0	85 70.8	29 24.2	4 3.3	2 1.7
	今働いている	85 100.0	59 69.4	23 27.1	1 1.2	2 2.4
	今は働いていないが、今から5年以内に働いていたことがある	7 100.0	4 57.1	1 14.3	2 28.6	-
	今は働いていないが、今から5年より前に働いていたことがある	28 100.0	22 78.6	5 17.9	1 3.6	-

【若手】現在の勤務先への要望×【家族等】福祉の仕事への印象

- ・全体的に、家族等が「悪い印象」を持っている場合、若手職員も勤務先への改善要望を持っている傾向がある。
- ・家族等が「良い印象」を持っている場合、「特に要望はない」が 33.8%で、平均を大きく上回る。「賃金の改善」については、家族等が「良い印象」を持っていても 50%の方が改善を望んでいる。

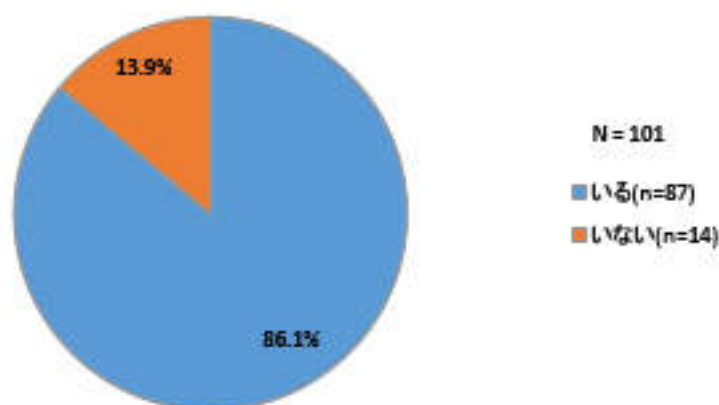
上段:度数		【若手】現在の勤務先への要望はありますか。当てはまるものを全て選んでください。									
下段:%		合計	特に要望はない	職場内の人間関係の改善	メンタルヘルスクアの充実	仕事と家庭の両立への支援の充実	労働時間・休憩時間の改善	夜勤・宿直の回数や体制の改善	休日取得(有給休暇等)の改善	賃金の改善	
【家族等】福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。	全体	516 100.0	119 23.1	130 25.2	83 16.1	62 12.0	157 30.4	19 3.7	130 25.2	283 54.8	
	良い印象	136 100.0	46 33.8	30 22.1	20 14.7	14 10.3	28 20.6	2 1.5	26 19.1	68 50.0	
	悪い印象	130 100.0	20 15.4	43 33.1	28 21.5	30 23.1	58 44.6	10 7.7	51 39.2	81 62.3	
	どちらとも置えない	250 100.0	53 21.2	57 22.8	35 14.0	18 7.2	71 28.4	7 2.8	53 21.2	134 53.6	

上段:度数		【若手】現在の勤務先への要望はありますか。当てはまるものを全て選んでください。								
下段:%		各種手当(資格・通勤手当等)の改善	退職金制度の充実	研修機会・資格取得支援の充実	キャリアパスの明確化	仕事の能力を反映した人事評価	ICT等を活用した業務効率化	腰痛予防などの身体的負担の軽減	判用書や判用者家族からのハラスメント対策	その他
【家族等】福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。	全体	106 20.5	50 9.7	47 9.1	24 4.7	42 8.1	46 8.9	61 11.8	44 8.5	9 1.7
	良い印象	22 16.2	7 5.1	8 5.9	6 4.4	8 5.9	13 9.6	12 8.8	9 6.6	2 1.5
	悪い印象	25 19.2	18 13.8	13 10.0	8 6.2	18 13.8	13 10.0	22 16.9	20 15.4	3 2.3
	どちらとも置えない	59 23.6	25 10.0	26 10.4	10 4.0	16 6.4	20 8.0	27 10.8	15 6.0	4 1.6

4. 教員等向け調査

問4 令和5年度の貴校の卒業者の内、就職者はいますか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「令和5年度の卒業者の内、就職者はいるか」について、「いる」が87件（86.1%）、「いない」が14件（13.9%）となっている。

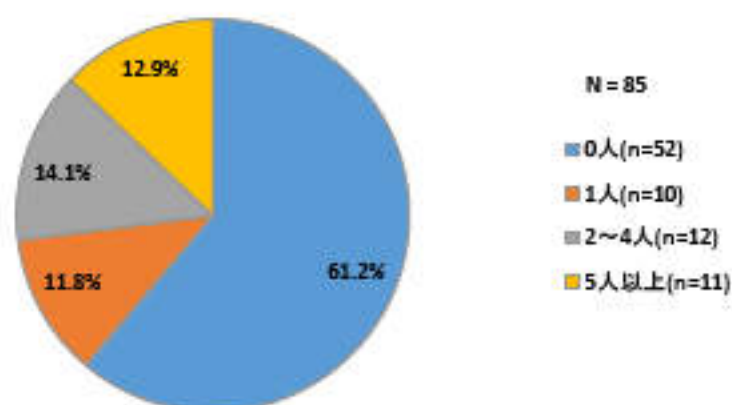


問4-1 令和5年度の貴校の卒業者の内、就職者数を教えてください。【SA】

- ・「令和5年度の貴校の卒業者の内、就職者数」について、最も多いのは「0～99」で71件（84.5%）となっており、次いで「100～199」が9件（10.7%）、「900以上」が1件（1.2%）となっている。

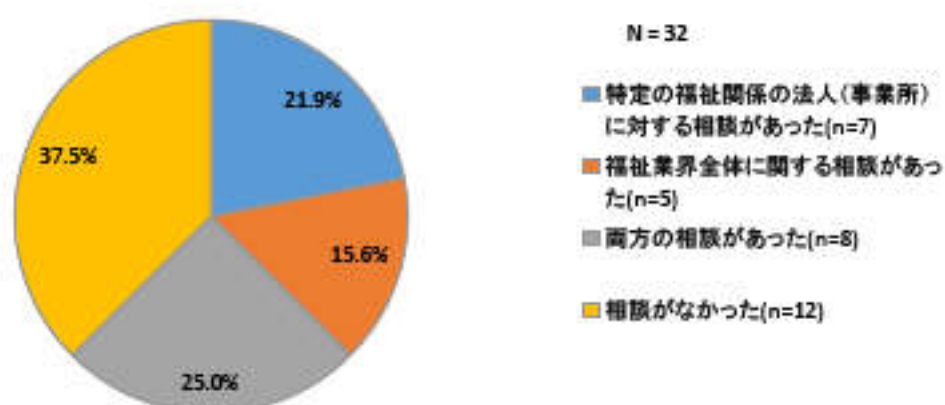
問4-2 令和5年度の貴校の就職者で福祉分野に就職した人数を次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「令和5年度の就職者で福祉分野に就職した人数」について、最も多いのは「0人」で52件（61.2%）となっており、次いで「2～4人」が12件（14.1%）、「5人以上」が11件（12.9%）となっている。



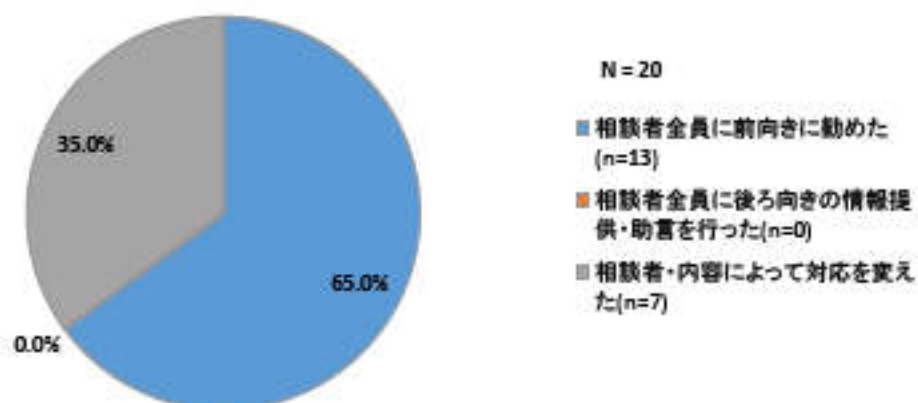
問4-3 問4-2で「2」「3」「4」を選んだ方のみお答えください。学生・生徒が就職先を決める際、特定の福祉関係の法人（事業所）に対する相談がありましたか。それとも、福祉業界全体に関する相談がありましたか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「学生・生徒が就職先を決める際、特定の福祉関係の法人（事業所）に対する相談があったか」について、最も多いのは「相談がなかった」で12件（37.5%）となっており、次いで「両方の相談があった」が8件（25.0%）、「特定の福祉関係の法人（事業所）に対する相談があった」が7件（21.9%）となっている。



問4-4 問4-3で「1」「2」「3」を選んだ方のみお答えください。学生・生徒からの就職相談があった際、どのような方向で、お答え・アドバイスをしましたか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「学生・生徒からの就職相談があった際、どのような方向で、アドバイスをしたか」について、最も多いのは「相談者全員に前向きに勧めた」で13件（65.0%）となっており、次いで「相談者・内容によって対応を変えた」が7件（35.0%）となっている。



福祉分野への就職者数×アドバイスの方向性

- ・福祉分野に就職した人数と就職相談があった際のアドバイスの関連のを見ると、全体では「相談者全員に前向きに勧めた」が 65.0%、「相談者・内容によって対応を変えた」が 35.0%となっている。
- ・福祉分野への就職人数別に見ると、「相談者全員に前向きに勧めた」は「1人」の学校で 85.7%と最も高くなっている。
- ・「2～4人」の学校では「相談者全員に前向きに勧めた」割合は 42.9%と、「相談者・内容によって対応を変えた」57.1%の方が多くなっている。

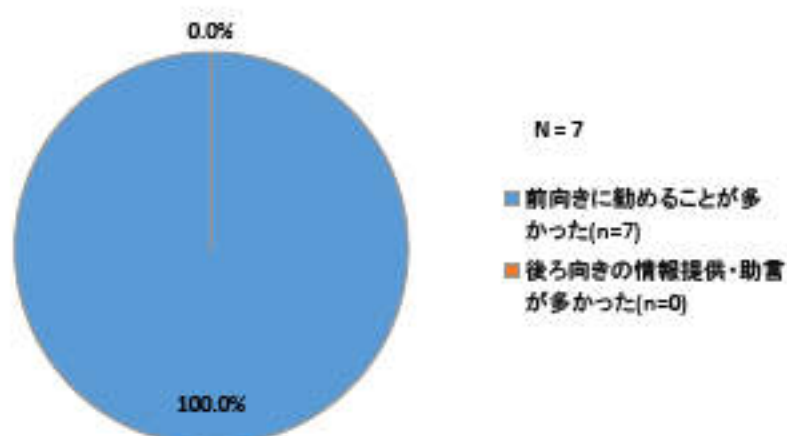
上段:度数		問4-3で「1」「2」「3」を選んだ方のみお答えください。学生・生徒からの就職相談があった際、どのような方向で、お答え・アドバイスをしましたか。次から1つだけ選んでください。			
		下段:%	合計	相談者全員に前向きに勧めた	相談者全員に後ろ向きの情報提供・助言を行った
令和5年度の貴校の就職者で福祉分野に就職した人数を次から1つだけ選んでください。	全体	20 100.0	13 65.0	-	7 35.0
	0人	-	-	-	-
	1人	7 100.0	6 85.7	-	1 14.3
	2～4人	7 100.0	3 42.9	-	4 57.1
	5人以上	6 100.0	4 66.7	-	2 33.3

問4-5 問4-4で「2」を選んだ方のみお答えください。理由をお聞かせください。
【FA】

- ・回答なし

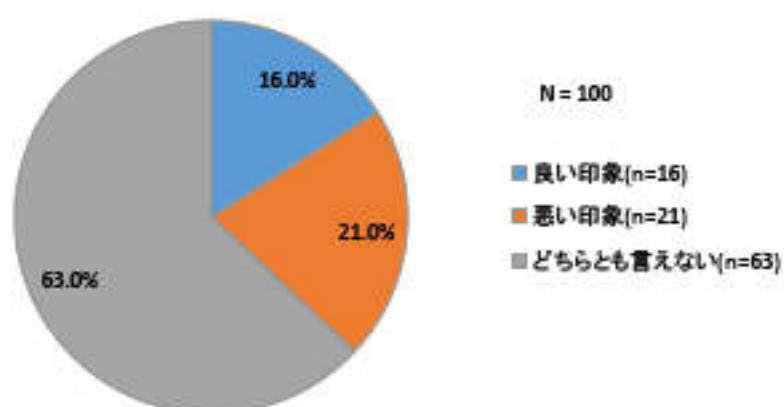
問4-6 問4-4で「3」を選んだ方のみお答えください。相談者・内容によって、どのように対応をすることが多かったですか。次から1つだけ選んでください。
【SA】

- ・「相談者・内容によって、どのように対応をすることが多かったか」については、「前向きに勤めることが多かった」が7件（100%）となっている。



問5 福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか」について、最も多いのは「どちらとも言えない」で63件（63.0%）となっており、次いで「悪い印象」が21件（21.0%）、「良い印象」が16件（16.0%）となっている。



福祉分野への印象×アドバイスの方向性

- ・福祉の仕事や労働環境の印象と就職相談があった際のアドバイスの関連を見ると、全体では「相談者全員に前向きに勧めた」が 63.2%、「相談者・内容によって対応を変えた」が 36.8%となっている。
- ・印象別に見ると、「良い印象」の学校では「相談者全員に前向きに勧めた」が 75.0%、「相談者・内容によって対応を変えた」が 25.0%となっている。
- ・「悪い印象」の学校では「相談者全員に前向きに勧めた」と「相談者・内容によって対応を変えた」が 50.0%ずつとなっている。
- ・「どちらとも言えない」学校では、「相談者全員に前向きに勧めた」が 61.5%、「相談者・内容によって対応を変えた」が 38.5%となっている。

上段:度数		問4-3で「1」「2」「3」を選んだ方のみお答えください。学生・生徒からの就職相談があった際、どのような方向で、お答え・アドバイスをしましたか。次から1つだけ選んでください。			
		下段:%	合計	相談者全員に前向きに勧めた	相談者全員に後ろ向きの情報提供・助言を行った
福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。	全体	19 100.0	12 63.2	-	7 36.8
	良い印象	4 100.0	3 75.0	-	1 25.0
	悪い印象	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0
	どちらとも言えない	13 100.0	8 61.5	-	5 38.5

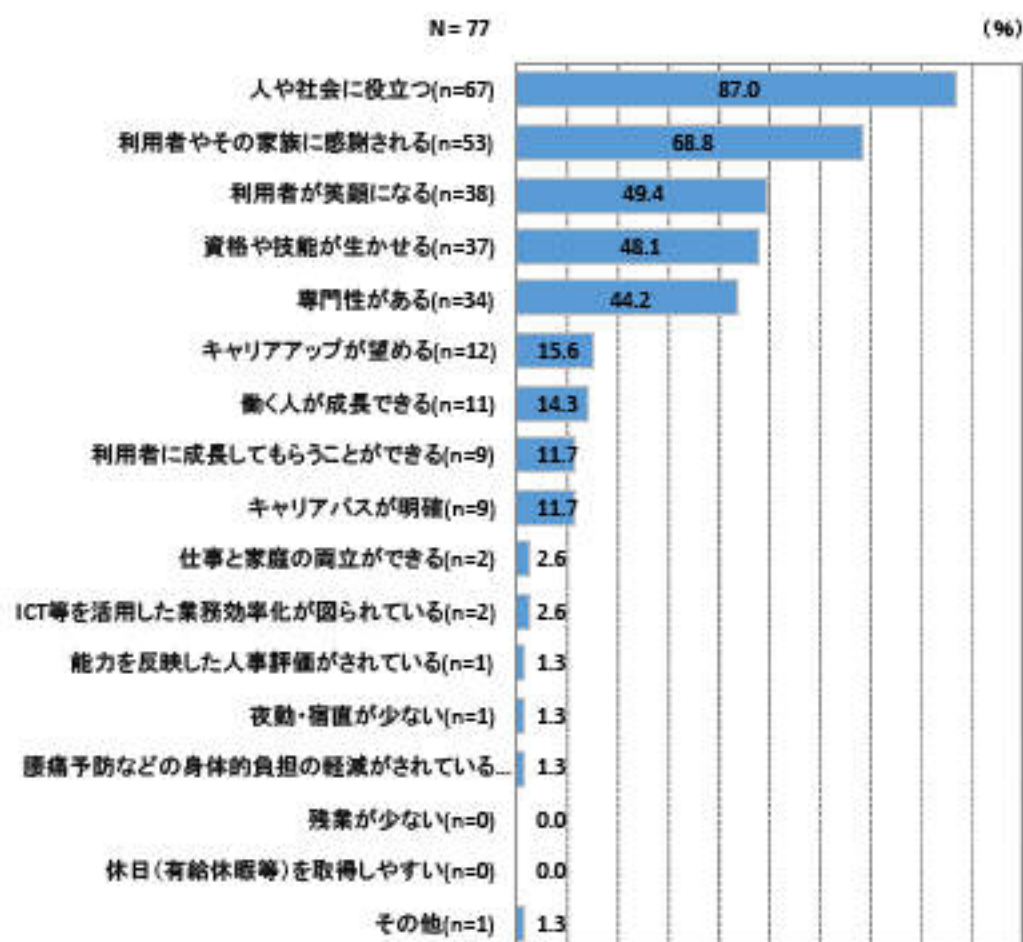
福祉分野への印象×相談者への対応

- ・福祉の仕事や労働環境の印象と就職相談があった際のアドバイスで「相談者・内容によって対応を変えた」場合の関連を見ると、印象に関わらず、「前向きに勧めることが多かった」という回答となっている。

上段:度数		問4-4で「1」を選んだ方のみお答えください。相談者・内容によって、どのように対応をすることが多かったですか。次から1つだけ選んでください。		
		下段:%	合計	前向きに勧めることが多かった
福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。	全体	7 100.0	7 100.0	-
	良い印象	1 100.0	1 100.0	-
	悪い印象	1 100.0	1 100.0	-
	どちらとも言えない	5 100.0	5 100.0	-

問5-1 問5で「1」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や労働環境のどこに良い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・「福祉の仕事や労働環境のどこに良い印象を持っているか」について、最も多いのは「人や社会に役立つ」で 67 件 (87.0%) となっており、次いで「利用者やその家族に感謝される」が 53 件 (68.8%)、「利用者が笑顔になる」が 38 件 (48.4%) となっている。

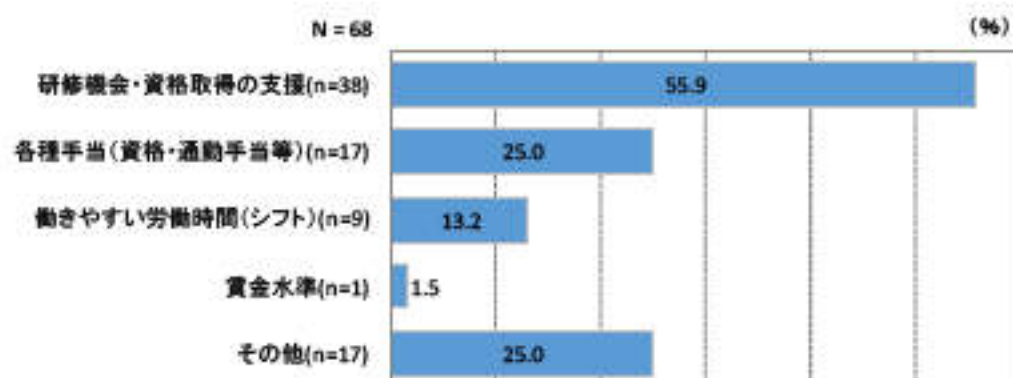


【その他回答】

何とも言えない

問5-2 問5で「1」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や就労条件のどこに良い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・「福祉の仕事や就労条件のどこに良い印象を持っているか」について、最も多いのは「研修機会・資格取得の支援」で38件（55.9%）となっており、次いで「各種手当（資格・通勤手当等）」が17件（25.0%）、「働きやすい労働時間（シフト）」が9件（13.2%）となっている。



【その他回答】

【やりがい】

やりがいがある / 高齢化社会においてなくてはならない仕事。大変なことも多い分、感謝や笑顔になってもらえることがやりがいとなると思えるため / 感謝されることで生じるやり甲斐 / 人や社会の役に立つところ

【職場環境】

誰かを支える目的で共通理解が図られた職場環境 / 職場環境が若い職員が多く協力しやすい関係になっている

【ネガティブなイメージ】

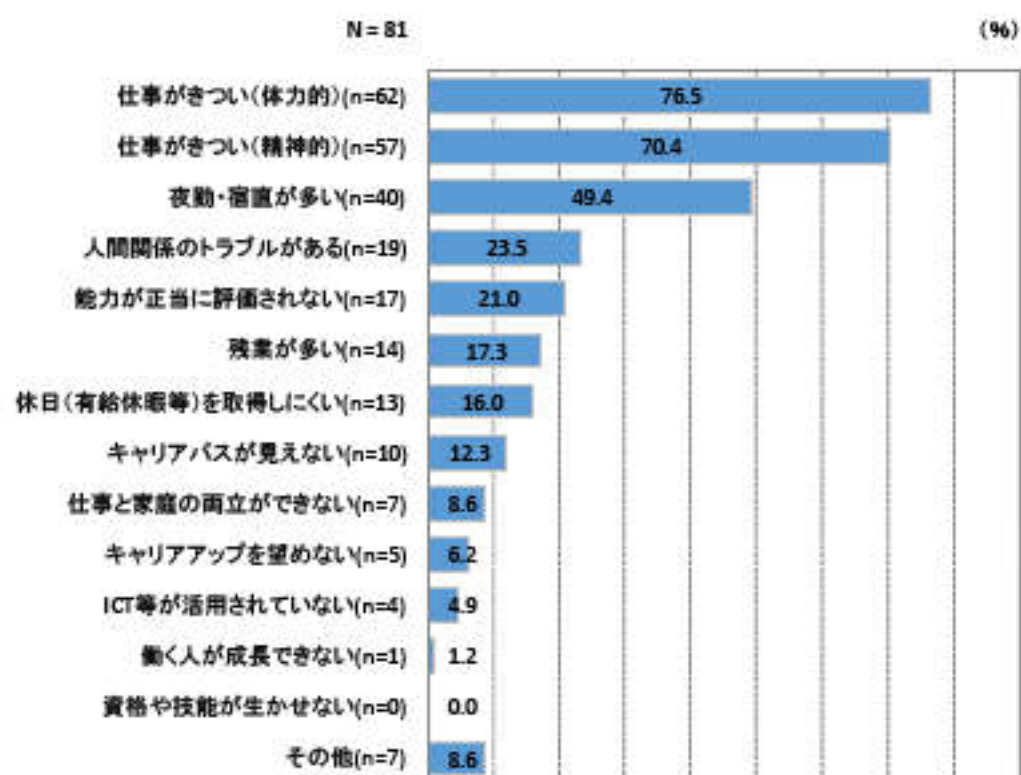
上記に良い印象はない / 労働条件として、あまり良い印象はないです

【その他】

地元就職 / 政府、自治体からの支援・補助

問5-3 問5で「2」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や労働環境のどこに悪い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・「福祉の仕事や労働環境のどこに悪い印象を持っているか」について、最も多いのは「仕事がつい（体力的）」で62件（76.5%）となっており、次いで「仕事がつい（精神的）」が57件（70.4%）、「夜勤・宿直が多い」が40件（49.4%）となっている。



【その他回答】

人材不足 / 仕事内容の割に給与が低く、社会的評価も低い / 処遇改善費が正當に反映されない / 特になし / 何か悪い印象があるということではありません / 何とも言えない

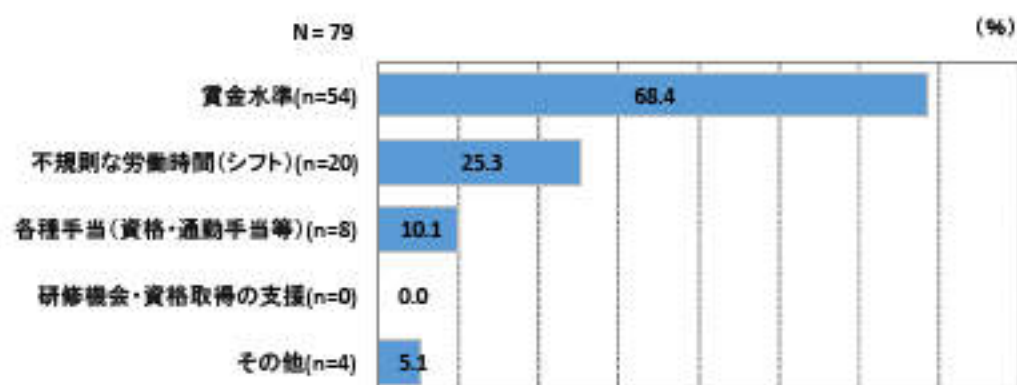
福祉分野への印象×労働環境の悪い印象箇所

- ・福祉の仕事や労働環境の印象と労働環境の「悪い印象」または「どちらとも言えない」の関連のを見ると、全体では「仕事がつい（体力）」が76.5%で最も多く、続いて「仕事がつい（精神的）」70.4%、「夜勤・宿直が多い」49.4%となっている。
- ・印象別に見ると、「悪い印象」の学校では「仕事がつい（体力）」「仕事がつい（精神的）」がそれぞれ90.0%と非常に高くなっている。
- ・「どちらとも言えない」学校でも、「仕事がつい（体力）」が72.1%、「仕事がつい（精神的）」が63.9%と高くなっている。

上段:人数 下段:%		問5で「2」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や労働環境のどこに悪い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。														
		合計	キャリア アパス が見え ない	キャリア アッ プを望 めない	能力が 正當に 評価さ れない	働く人 が成長 できな い	資格や 技能が 生かせ ない	人間関 係のト ラブル がある	仕事と 家庭の 両立が できな い	夜勤・ 宿直が 多い	残業が 多い	休日 (有給 休暇 等)を取 得しにく い	仕事がつ い (体力)	仕事がつ い (精神的)	ICT等 が活用 されて いない	その他
福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。	全体	81 100.0	10 12.3	5 6.2	17 21.0	1 1.2	- -	19 23.5	7 8.6	40 49.4	14 17.3	13 16.0	62 76.5	57 70.4	4 4.9	7 8.6
	良い印象	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	悪い印象	20 100.0	1 5.0	2 10.0	6 30.0	1 5.0	- -	4 20.0	2 10.0	6 40.0	3 15.0	2 10.0	18 90.0	18 90.0	-	-
	どちらとも言えない	61 100.0	9 14.6	3 4.9	11 18.0	-	-	15 24.6	5 8.2	32 52.5	11 18.0	11 18.0	44 72.1	39 63.9	4 6.6	7 11.5

問5-4 問5で「2」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や就労条件のどこに悪い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・「福祉の仕事や就労条件のどこに悪い印象を持っているか」について、最も多いのは「賃金水準」で54件(68.4%)となっており、次いで「不規則な労働時間(シフト)」が20件(25.3%)、「各種手当(資格・通勤手当等)」が8件(10.1%)となっている。



【その他回答】

経営者の報酬水準 / 特になし / 特定の悪い印象があるわけではない / 何とも言えない

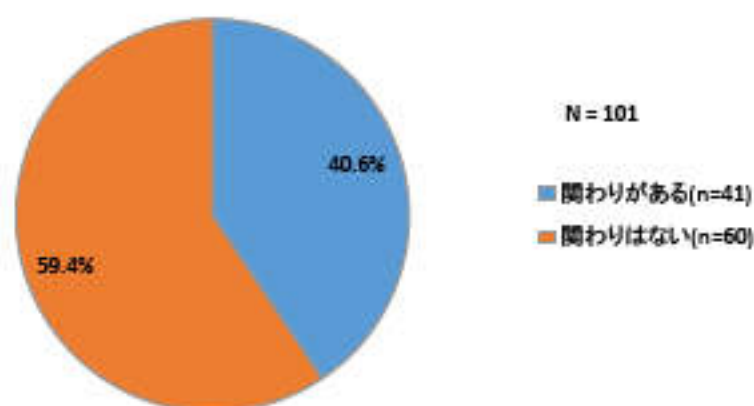
福祉分野への印象×就労条件の悪い印象箇所

- ・福祉の仕事や労働環境の印象と就労条件の「悪い印象」または「どちらとも言えない」の関連を見ると、全体では「賃金水準」が68.4%で最も多く、続いて「不規則な労働時間(シフト)」25.3%、「各種手当(資格・通勤手当等)」10.1%となっている。
- ・印象別に見ると、「悪い印象」の学校では「賃金水準」が89.5%と非常に高くなっている。
- ・「どちらとも言えない」学校でも、「賃金水準」が61.7%と最も多く、「不規則な労働時間(シフト)」が30.0%と続いている。

上段: 属性		問5で「2」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や就労条件のどこに悪い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。					
		合計	賃金水準	各種手当(資格・通勤手当等)	不規則な労働時間(シフト)	研修機会・資格取得の支援	その他
福祉の仕事や労働環境ごどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。	全体	79	54	8	20	-	4
		100.0	68.4	10.1	25.3	-	5.1
	良い印象	-	-	-	-	-	-
	悪い印象	19	17	-	2	-	-
	100.0	89.5	-	10.5	-	-	
どちらとも言えない	60	37	8	18	-	4	
	100.0	61.7	13.3	30.0	-	6.7	

問6 日頃の教育（授業や部活など）の中で、地域の福祉施設・事業所との関わりがありますか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「日頃の教育（授業や部活など）の中で、地域の福祉施設・事業所との関わりがあるか」について、「関わりがある」が41件（40.6%）、「関わりはない」が60件（59.4%）となっている。



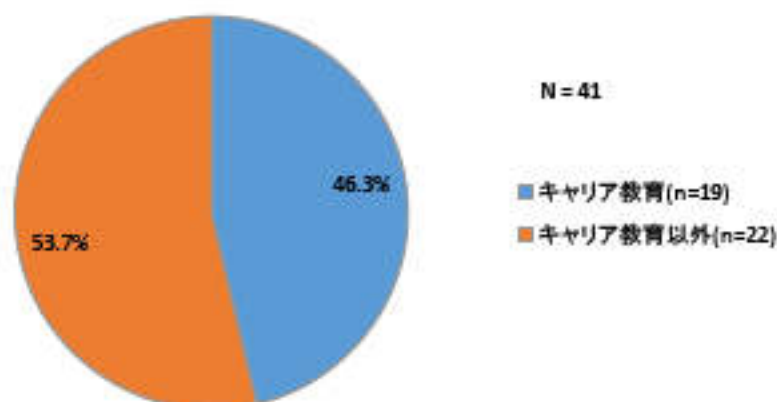
地域の福祉施設・事業所との関わり×福祉分野への印象

- ・日頃の教育（授業や部活など）の中で地域の福祉施設・事業所との関りの有無と福祉の仕事や労働環境への印象の関連を見ると、日頃の教育（授業や部活など）の中で地域の福祉施設・事業所と「関りがある」場合、「良い印象」、「悪い印象」とも全体より低い割合となっている。

		福祉の仕事や労働環境ごどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。			
		合計	良い印象	悪い印象	どちらとも言えない
日頃の教育（授業や部活など）の中で地域の福祉施設・事業所との関りがありますか。次から1つだけ選んでください。	上段度数				
	下段%				
	全体	100	16	21	63
		100.0	16.0	21.0	63.0
関りがある		40	5	4	31
		100.0	12.5	10.0	77.5
関りはない		60	11	17	32
		100.0	18.3	28.3	53.3

問6-1 問6で「1」を選んだ方のみお答えください。その関わりは、次のどちらですか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・関わりについて、「キャリア教育」が19件(46.3%)、「キャリア教育以外」が22件(53.7%)となっている。



問6-2 問6-1で「2」を選んだ方のみお答えください。キャリア教育以外での地域の福祉施設・事業所との関わりについて、その頻度や内容を教えてください。【FA】

【ボランティア】

- ・学生が主体的に行っているボランティア活動(随時)。
- ・ボランティアを行う部があり、定期的ではないが、行事等のボランティア募集があったときに応じる場合、インターンシップ等で希望生徒がいれば派遣する場合がある。頻度は年に数日。
- ・老人ホームへのアニマルセラピー活動。
- ・ケアハウスで行っているこども食堂のボランティア。
- ・部活動(ボランティア関連)でのイベント等への参加。
- ・ボランティアに関連したサークルがあり、年に数回、福祉施設のイベントに参加している。

【体験・講習】

- ・見学学習。
- ・職場体験。
- ・講師依頼をしている1回/年。
- ・1年に1回程度、福祉施設より車いすを借り、車いす利用者のための安全な扱い方法を習得しています。

【実習】

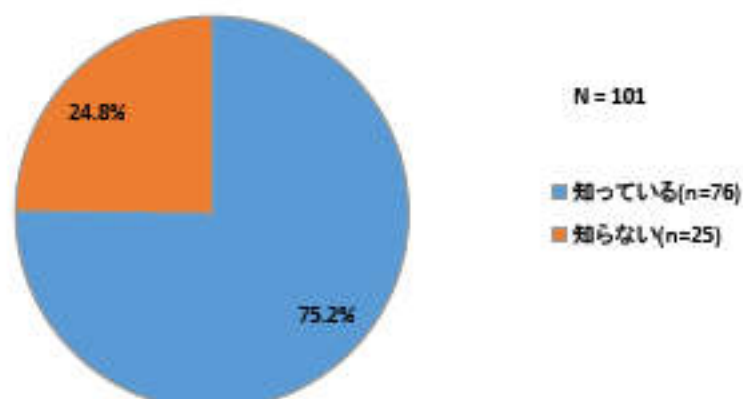
- ・大学カリキュラムの中での福祉現場実習（年2回）。
- ・本校福祉コースでは地域の介護施設3ヶ所と連携して、デュアルシステムを行っている。コース在籍者は3年時に、入所施設7回、通所施設5回、訪問介護2回の施設実習を行い、卒業と同時に県介護職員初任者研修課程修了の取得を目指している。
- ・資格取得に必要な実習（社会福祉施設）。
- ・資格取得に必要な実習（幼稚園・保育園・児童養護施設・障害児入所施設等）。

【その他】

- ・求人依頼を通じた情報交換。
- ・交流会。
- ・アントレプレナーシップ教育や農福連携として年に数回程度ワークショップ開催した。農業高校の農場を開放し、農作業を体験してもらった（各校年1回程度）。
- ・事業所に昼食販売を依頼している。

問7 福祉業界では、処遇改善に向けた取り組みが行われていることをご存じですか。次から1つだけ選んでください。【SA】

- ・「福祉業界では、処遇改善に向けた取り組みが行われていることを知っているか」について、「知っている」が76件（75.2%）、「知らない」が25件（24.8%）となっている。



処遇改善に向けた取り組みの認識の有無別アドバイスの方向性

- ・福祉業界では、処遇改善に向けた取り組みが行われていることを知っているかと就職相談の際のアドバイスの関連を見ると、全体では「相談者全員に前向きに勧めた」が65.0%で最も多く、「相談者・内容によって対応を変えた」が35.0%となっている。

上段:度数 下段:%		問4-3で「1」「2」「3」を選んだ方のみお答えください。学生・生徒からの就職相談があった際、どのような方向で、お答え・アドバイスをしましたか。次から1つだけ選んでください。			
		合計	相談者全員に前向きに勧めた	相談者全員に後ろ向きの情報提供・助言を行った	相談者・内容によって対応を変えた
福祉業界では、処遇改善に向けた取り組みが行われていることをご存じですか。地紙から1つだけ選んでください。	全体	20 100.0	13 65.0	-	7 35.0
	知っている	17 100.0	11 64.7	-	6 35.3
	知らない	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3

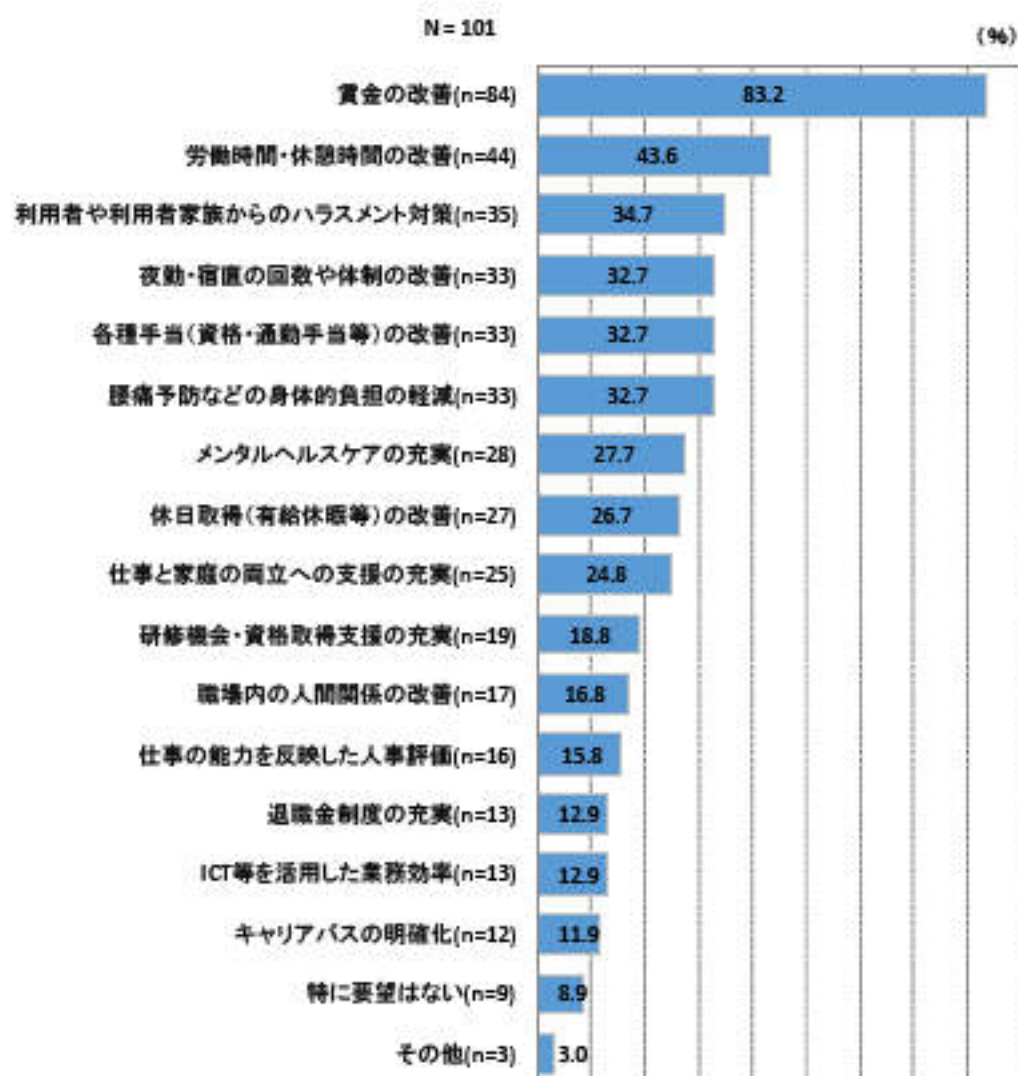
処遇改善に向けた取組みの認識の有無別印象

- ・福祉業界では、処遇改善に向けた取組みが行われていることを知っているかと福祉の仕事や労働環境の印象の関連を見ると、全体では「どちらとも言えない」が63.0%で最も多く、続いて「悪い印象」が21.0%、「良い印象」が16.0%となっている。
- ・処遇改善に向けた取組みが行われていることを「知っている」場合、「良い印象」が、「知らない」場合、「悪い印象」の割合が高くなる。

上段:度数 下段:%		福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から1つだけ選んでください。			
		合計	良い印象	悪い印象	どちらとも言えない
福祉業界では、処遇改善に向けた取組みが行われていることをご存じですか。地紙から1つだけ選んでください。	全体	100	16	21	63
		100.0	16.0	21.0	63.0
	知っている	75	15	13	47
		100.0	20.0	17.3	62.7
	知らない	25	1	8	16
		100.0	4.0	32.0	64.0

問8 福祉の仕事（業界）に対する要望はありますか。当てはまるものを全て選んでください。【MA】

- ・「福祉の仕事（業界）に対する要望はあるか」について、最も多いのは「賃金の改善」で84件（83.2%）となっており、次いで「労働時間・休憩時間の改善」が44件（43.6%）、「利用者や利用者家族からのハラスメント対策」が35件（34.7%）となっている。

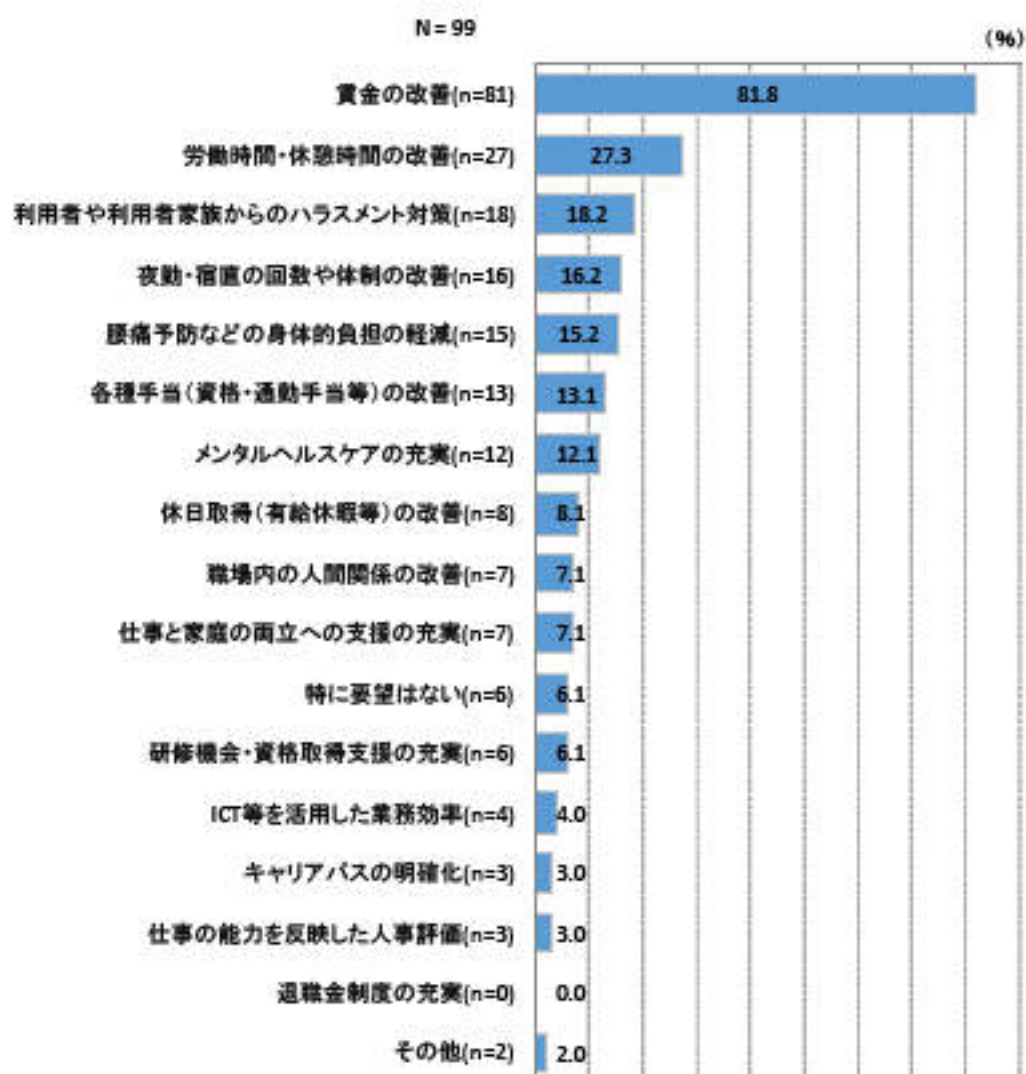


【その他回答】

何とも言えない / 福祉関係就職希望者の保護者の仕事への理解 / 処遇改善費の正当性、資格手当アップ

問8—1 問8で選んだ選択肢の中でも、特に重視する番号を最大3つまで選んでください。【MA】

- ・「特に重視する要望」について、最も多いのは「賃金の改善」で 81 件（81.8%）となっており、次いで「労働時間・休憩時間の改善」が 27 件（27.3%）、「利用者や利用者家族からのハラスメント対策」が 18 件（18.2%）となっている。



【その他回答】

何とも言えない / 福祉関係就職希望者の保護者の仕事への理解

問9 福祉の職場がより魅力的に見えるようにするために必要なこと（情報提供その他）、ご意見を自由にお聞かせください。

（例：給料、労働時間・休日・休暇、仕事内容、職場の雰囲気）【FA】

- ・福祉業界の改善点として賃金の向上が最も多く挙げられている。現状の給料が低く、労働に見合っていないとの声が多い。また、福祉業界全体に対するイメージの改善も必要とされており、広報活動を通じて「やりがい」や「魅力」を発信することが求められている。人手不足も深刻であり、条件や賃金の見直しだけでなく、地域の小中学校との連携やインターンシップの充実も提案されている。
- ・労働条件の改善としては、休暇や労働時間の改善、精神面や体力面でのサポートが必要とされている。さらに、職員の雰囲気などの労働環境の改善も重要視されている。全体として、賃金アップや労働環境の改善が業界全体のイメージ向上と人材確保につながると考えられている。

【就労条件】

- ・給与面の待遇改善。
- ・とにかく給料が低い現状が打破されない限り、業界を牽引しうる優秀な人材が福祉業界に目を向けることはないと思われる。
- ・福祉関係も処遇改善に努力されていると思うが、給料面では他の職種に比べるとまだまだ少ないと感じる。高齢化がますます進む中、介護の人材がこれからもっと必要になってくることは重々理解しており、多職種よりも良い待遇が必要であると思う。
- ・仕事の重要性からみても給料が低すぎると思います。人気の職種になると、伴って職場も改善されると思います。
- ・施設ごとに、給与面でばらつきがある。資格手当や、夜勤手当内に処遇改善が入っていたりする。この現状を魅力的に感じられるわけではない。
- ・職員の確保のため、給料・休暇等を充実させることが急務であると思われます。

【労働環境】

- ・1人1人の負担が減らせる職場。
- ・職場の雰囲気。
- ・相談しやすい環境作り。
- ・精神面、体力面（筋力補助機器）でのサポート。

【取り組みの可視化・情報発信】

- ・仕事内容が「きつい」割に給与が低いイメージが、世間では一般化している。それを払拭するような「やりがい」や「魅力」を発信・アピールする広報活動(CM等)が必要と考えます。
- ・以前に比べて労働条件が改善していることは、求人票を扱う際に理解しているが、生徒や保

護者の意識がまだ追いついていないと感じる。福祉業界全体が、社会から想像されるよりも明るく風通しが良い点、労働条件の具体的な改善点、社会貢献のために若い力が必要（いわゆるカッコイイ仕事である）等、積極的にPRしていけるといいのではないかと感じている。

- ・実際の職場の様子を広く一般に情報提供。
- ・福祉の職場で行われている労働環境の改善のための取り組みを積極的にPRする必要があると思います。

【体験】

- ・どの職種も人手不足のため、一人でも多くの人材を確保しようと労働条件や賃金を大幅に変えています。そのため、条件や賃金の見直しだけでは難しいと考えます。そのため時間はかかりますが、インターンシップだけでなく、地域の小学校・中学校と連携し、「体験」できる企画を充実させていくことが良いのではないのでしょうか。

【イメージ】

- ・日本におけるイメージの変換。
- ・賃金と労働時間などの制度が改善されることが最優先課題ではないか。低賃金・過重労働のイメージが払拭されない限り、就業者の増加は見込めない。
- ・3K(5K)のイメージがまだ根強いマイナスイメージの払拭。

【その他】

- ・働く職員や利用者にとっても利便性の高い施設立地場所などを考慮して、どんどん街中（中心市街）に出ていくことが必要で、職員や利用者の日常をどんどん「見える化」していくことが必要と考える。
- ・早期離職を避ける取組。
- ・保護者の理解促進。
- ・地域社会との共存や地域に開かれた施設運営。
- ・終末期高齢者についての正しい理解をすること。

Ⅲ. これからの福祉人材の確保・定着に向けて

- ・福祉分野における労働環境や就労条件をより良くしていかなければならないことは、どの調査結果からも明らかである。これらの改善が職員の満足度向上や定着、さらには人材確保に寄与すると考えられる。
- ・若手職員が「福祉の仕事を目指そうと思った時期」では、小学生 15.4%、中学生 15.3%、高校生 34.1%との結果になった。これは、およそ3分の2が高校生までに福祉の仕事を経験として選択していることになるため、この時期に教育機関と連携を図り、本人が、福祉の仕事を意識・経験できるような働きかけが重要となる。
- ・若手職員が現在の勤務先を決めたきっかけでは、親兄弟、施設職員、友人、学校の先輩・後輩、親戚、施設の利用者の「人による影響」が 36.7%にもものぼった。特に、家族等が「福祉の仕事の経験がある」との回答は、28.7%となった。ここから、家族等が福祉の仕事をしている場合、その子等は、福祉の仕事を選択する可能性が高いことが伺える。
現在、家族等が就業する福祉施設・事業所の労働環境をより良くし、また、福祉の仕事に良いイメージを持つ関係者を拡大することが、若い方の就職につながることを示唆している（今働いている家族等の、福祉の仕事や労働環境に対する「良い印象」は 31.9%）。
なお、若手職員の内、305 人（32.7%）が福祉や医療を専攻していない人であることから、広く福祉の仕事について伝え、知ってもらうことが将来的な職員確保につながる。
- ・若手職員の転職意向については、「福祉分野」、「他分野」、「まだ決めていない」がそれぞれおよそ3割の回答となっている。また、「現在の勤務先で働き続けたいか」の問いに対しては、「先の事は分からない」が 47.5%で最多である。このことから、転職意向で「まだ決めていない」人、現在の勤務先の就労の継続の希望で「先の事は分からない」人を、いかに当該事業所や福祉業界が課題に向き合い、留めることができるかが重要となる。
- ・「生涯、当該施設で働きたい」との意向を示した若手職員は 146 人（15.6%）であったが、その内、労働環境に起因するものは、「人間関係が良好だから」、「休日（有給休暇等）を取得しやすいから」、「仕事と家庭の両立ができるから」が上位の理由に挙げられた。また、就労条件に起因するものは、「やりがいがあるから」、「労働条件（労働時間、夜勤・宿直等のシフト、残業等）が揃っているから」が上位に挙げられ、「賃金が良いから」とする理由を上回った。そのため、賃金の向上以外の要件を見直すことも、職員の定着が図られることを示唆している。
また、若手職員が現在の勤務先を決めたきっかけでは、「施設・事業所のホームページや SNS」が2番目に多い項目となった。このことから、施設・事業所のホームページや SNS に事業所の働きやすさや魅力など、より惹き付ける内容や新鮮な情報を掲載することが、職員確保の一助となると伺える。
- ・保育分野の若手職員及び家族等からの意見が顕著だった「無償の持ち帰り業務」の軽減を図ることで、保育分野の環境改善につながっていくものと考えられる。
- ・賃金の向上にかかる改善要望が最も多いが、それ以外にも「腰痛予防などの身体的負担の軽減」、「ハラスメント対策」など、機器の導入や研修などを通じて改善できる要因も多い。特に身体的

負担に関する悪い印象の理由の中では、家族等では2番目、教員等では最も高くなっていることから、業界として、若い世代から身体的負担の軽減を図ることが望まれる。

- ・学校としては、福祉分野への就職相談に対して前向きに助言をしている実態がある一方で、福祉分野に「悪い印象」がある教員等は 21.0%、「どちらとも言えない」は 63.0%となった。日頃の教育で、地域の福祉施設・事業所と関りがあるのは 40.6%であることから、この関わり合いを増やす取り組みをしていくことは、福祉施設・事業所の魅力などをアピールする機会が増えていくことにもつながり、教員等の理解を深めつつ、若い世代にも福祉の仕事を知ってもらうきっかけになり得ると考えられる。
- ・今回の調査回答者では、勤務先種別「児童（保育所・こども園）」、職種「保育士」の回答者が多かった一方で、少ない勤務先種別や職種も見受けられた。本調査は初発ということもあり、少なかった回答の勤務先種別や職種については、今後実施する調査などで実態を明らかにしていきたい。

IV. 巻末資料

福祉人材確保に向けた若者と取り巻く関係者への意識等調査 実施要領

1 調査の趣旨・目的

少子高齢化の進行により、福祉・介護業界はニーズの多様化と需要量の増加が同時進行しており、人材の安定的な確保が喫緊の課題となっている。しかし、現役世代人口、とりわけ若年人口が急速に減少するなかで、労働力の確保は難しい状況にある。

そこで本調査は、今後の福祉人材の確保・育成・定着に関する対策を立てるために、県内の福祉施設・事業所で働く、とりわけ若年層の職員の仕事や働き方に関する考え方、職場への希望、就業継続の要件や就職・転職の経緯等を把握することを目的とする。

この目的を達成するため、併せて学校の進路担当教員や家族等の福祉職場に対する意識や、職業・就職先選択の際の影響等についても実態を把握する。

2 実施主体

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会

3 協力

茨城県保育協議会

茨城県児童福祉施設協議会

一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会

一般社団法人茨城県老人福祉施設協議会

一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会

茨城県訪問介護協議会

茨城県社会福祉法人経営者協議会

特定非営利活動法人茨城県地域密着型介護サービス協議会

4 調査対象

- (1) 県内の福祉施設・事業所に勤務し、日常的に利用者の支援に直接にあたっている、就職後概ね5年以内かつ30歳以下の職員（以下、「若手職員」という）。

※「派遣職員」を除く「正規職員」及び「非正規職員」。

- (2) (1)の家族等（例：父母、祖父母、兄弟など）

- (3) 県内の中等教育学校、高等学校、高等専門学校、専門学校、短期大学、大学の進路担当教員等（以下、「教員等」という）。

5 調査期間

令和6年12月16日～令和7年1月15日

6 調査基準日

令和6年12月1日現在

7 調査内容

別紙1～3の調査票のとおり

8 調査方法

(1) 調査票を次の対象に送付する。

ア 若手職員

- ・茨城県社会福祉協議会（以下、県社協という）が調査票を県内の福祉施設・事業所に郵送し、福祉施設・事業所が調査票を職員に配布する。無記名でGoogleフォームにより回答をする調査方法とする。
- ・福祉施設・事業所に所属する、経験年数が概ね5年未満の若手職員を対象とする（無記名）。

イ 家族等

- ・県社協が調査票を福祉施設・事業所に郵送する（1）で対象とした若手職員からその家族等に転送する。無記名でGoogleフォームにより回答をする調査方法とする。

ウ 教員等

- ・県社協が調査票を県内の中等教育学校、高等学校、高等専門学校、専門学校、短期大学、大学の進路指導担当に郵送する。学校名記名（公表は行わない）でGoogleフォームにより回答をする調査方法とする。
- ・1校から1名に回答いただく。

(2) 上記（1）ア及びイの調査を依頼する通知文のQRコード上部に、それぞれ通し番号を付し、アとイが同じ番号を回答することで関連付けをする。

9 回答期限

令和7年1月15日（水）

10 集計

県社協において、調査票回収後に集計を行う（福祉施設・事業所単位での集計は行わず県全体の集計とする。）

また、県社協において集計結果を分析し、報告書を作成する。

【調査票1 若手職員向け】 (令和6年12月1日現在の内容でご回答ください)

問1 通知文のQRコード上部に記載がある番号を記入してください。

 番号

問2 性別を次から**1つだけ**選んでください。

- 1 女
- 2 男
- 3 その他

問2-1 性別を理由とした職場での困りごとはありますか。**当てはまるものを全て**選んでください。

- 1 困りごとはない
- 2 トイレ
- 3 更衣室
- 4 夜勤・宿直の休憩室
- 5 同僚からのいじめ、嫌がらせ
- 6 役員・管理職からのいじめ、嫌がらせ
- 7 利用者との関係
- 8 その他 ()

問3 年齢を教えてください。

 歳

問4 最終学歴を次から**1つだけ**選んでください。

- 1 大学
- 2 短大
- 3 専門学校
- 4 高校
- 5 その他 ()

問4-1 問4の最終学歴で、福祉・医療の学部・学科を専攻していましたか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 福祉(介護・保育も含む)を専攻した
- 2 医療を専攻した
- 3 いずれも専攻していない

問5 現在の勤務先の種別を次から**1つだけ**選んでください（兼務している場合は、主たる業務の種別としてください）。

- | | | |
|---------------------|------------------|------------|
| 1 高齢者（入所系） | 2 高齢者（通所系） | 3 高齢者（訪問系） |
| 4 障害児・者（入所系） | 5 障害児・者（通所系） | 6 障害者（訪問系） |
| 7 児童（保育所・こども園） | 8 児童（保育所・こども園以外） | |
| 9 その他（ ） | | |

問6 現在の職種を次から**1つだけ**選んでください（兼務している場合は、主たる業務の職種としてください）。

- | | | | | |
|----------------------|---------|-------|---------|------------|
| 1 介護職 | 2 訪問介護員 | 3 保育士 | 4 児童指導員 | 5 相談員 |
| 6 生活支援員 | 7 指導員 | 8 看護職 | 9 事務職 | 10 リハビリ専門職 |
| 11 その他（ ） | | | | |

問7 保有している資格はなんですか。**当てはまるものを全て**選んでください。

- | | | | |
|----------------|----------|----------------------|----------|
| 1 介護福祉士 | 2 社会福祉士 | 3 精神保健福祉士 | 4 理学療法士 |
| 5 作業療法士 | 6 言語聴覚士 | 7 保育士 | 8 幼稚園教諭 |
| 9 保育教諭 | 10 准看護師 | 11 看護師 | 12 保健師 |
| 13 栄養士 | 14 管理栄養士 | 15 介護支援専門員 | 16 実務者研修 |
| 17 介護職員初任者研修 | | 18 社会福祉主事任用資格 | |
| 19 児童指導員任用資格 | | 20 サービス管理責任者 | |
| 21 児童発達支援管理責任者 | | 22 その他（ ） | |

問8 現在の雇用形態はなんですか。次から**1つだけ**選んでください。
（フルタイム：会社が規定する正規職員が働く時間）

- 1 正規職員
- 2 無期契約のフルタイム雇用（正規職員以外）
- 3 無期契約の短時間雇用
- 4 有期契約のフルタイム雇用
- 5 有期契約の短時間雇用

問9 残業時間は、毎月の平均で何時間くらいですか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 残業はない
- 2 10時間以内
- 3 10時間を超え30時間以内
- 4 30時間を超え45時間以内
- 5 45時間を超え60時間以内
- 6 60時間を超え80時間以内
- 7 80時間を超え100時間未満
- 8 100時間以上

問10 有給休暇は取りやすいですか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 取りやすい
- 2 取りにくい

問11 賃金の支給形態はなんですか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 時給 ⇒問11-1へ
- 2 日給 ⇒問11-2へ
- 3 月給 ⇒問11-3へ
- 4 その他() ⇒問11-3へ

問11-1 問11で「1」を選んだ方のみお答えください。**1時間当たりの金額(税込)**を教えてください(従事する仕事の内容や時間帯によって金額が異なる場合は、基本となる金額の平均値を記入してください)。

_____ 円/時 ⇒ 問11-4へ

問11-2 問11で「2」を選んだ方のみお答えください。**1日当たりの金額(税込)**を教えてください(従事する仕事の内容や時間帯によって金額が異なる場合は、基本となる金額の平均値を記入してください)。

_____ 円/日 ⇒ 問11-4へ

問 11-3 問 11 で「3」及び「4」を選んだ方のみお答えください。**1か月の基本給（税込）**を教えてください（「4」を選んだ方は、1か月当たりの額を記入してください）。

_____ 円/月 ⇒ 問 11-4 へ

問 11-4 毎月決まって支払われる手当等について、**当てはまるものを全て**選んでください。

- | | | | |
|----------|----------------|--------|---------|
| 1 処遇改善手当 | 2 住居手当 | 3 家族手当 | 4 資格手当 |
| 5 皆勤手当 | 6 夜勤手当 | 7 宿直手当 | 8 時間外手当 |
| 9 交通費 | 10 その他（ ） | | |

問 11-5 問 11-4 で選んだ手当等について、**1か月に支払われる総額（税込）**を教えてください。

_____ 円/月

問 11-6 現在の賃金に満足していますか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 満足している
- 2 不満である ⇒ 問 11-7 へ

問 11-7 問 11-6 で「2」を選んだ方のみお答えください。現在の賃金に対する不満の理由をお聞かせください。

問 12 **現在の勤務先**を決めたきっかけは下記のいずれですか。**当てはまるものを全て**選んでください。

- | | | | |
|--------------------|----------|-----------------------|------------|
| 1 福祉人材センター | 2 ハローワーク | 3 学校 | 4 学校の先輩・後輩 |
| 5 友人 | 6 親・兄弟 | 7 親戚 | 8 施設の利用者 |
| 9 施設の職員 | | 10 施設・事業所のホームページや SNS | |
| 11 折り込みチラシなどの求人情報誌 | | 12 インターネット求人広告 | |
| 13 人材紹介会社・エージェント | | 14 その他（ ） | |

問 15-1 問 15 で「1」「2」「3」を選んだ方のみお答えください。それぞれ、どのような意向でしたか。当てはまるものを全て選んでください。

<家族等>

- 1 前向きに勧めてくれた
- 2 最終的には本人の意思を尊重してくれた
- 3 後ろ向きの情報提供・助言をされた
- 4 その他 ⇒ 問 15-2 へ

<先生（学校）>

- 1 前向きに勧めてくれた
- 2 最終的には本人の意思を尊重してくれた
- 3 後ろ向きの情報提供・助言をされた
- 4 その他 ⇒ 問 15-2 へ

<友人、学校の先輩・後輩>

- 1 前向きに勧めてくれた
- 2 最終的には本人の意思を尊重してくれた
- 3 後ろ向きの情報提供・助言をされた
- 4 その他 ⇒ 問 15-2 へ

問 15-2 問 15-1 で「4」を選んだ方のみお答えください。どのような意向でしたか。

問 15-3 あなたが福祉の仕事に就労してから、家族等の福祉の仕事に対する印象に変化がありましたか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 変化はない
- 2 変化がある ⇒ 問 15-4 へ

問 15-4 問 15-3 で「2」を選んだ方のみお答えください。どのように変わりましたか。

問 19 福祉分野での業務経験年数はどれくらいですか。次から**1つだけ**選んでください（現在の勤務先以外も含めてご回答ください）。

- 1 1年未満 2 1年以上から3年未満 3 3年以上から5年未満 4 5年以上

問 20 転職経験はありますか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 転職経験がある ⇒ 問 20-1、問 20-2、問 20-3へ
2 就職は初めて ⇒ 問 21へ

問 20-1 問 20で「1」を選んだ方のみお答えください。転職の回数ほどのくらいですか。**当てはまるもの**を選んでください。

- 1 福祉関係 ①0回 ②1回 ③2回 ④3回以上
2 福祉関係以外 ①0回 ②1回 ③2回 ④3回以上

問 20-2 問 20で「1」を選んだ方のみお答えください。労働環境を理由とする転職動機について、**当てはまるものを全て**選んでください。

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1 人間関係のトラブル | 2 仕事がきつい（体力的） |
| 3 仕事がきつい（精神的） | 4 労働時間（シフト）が不規則 |
| 5 夜勤・宿直が負担 | 6 残業が多い |
| 7 休日（有給休暇等）を取得しにくい | 8 キャリアパス（※1）が見えない |
| 9 キャリアアップ（※2）を望めない | 10 能力が正当に評価されない |
| 11 資格が生かせない | 12 仕事の進め方に不満 |
| 13 経営方針が合わない | 14 意見を言いにくい・聞いてもらえない |
| 15 安全や衛生等の職場環境が良くない | 16 通勤が不便 |
| 17 仕事内容が合わない | 18 その他（ ） |

※1 キャリアパス … 目指すべき役職や立場などに到達するために必要なスキルや経験などを示した道筋のこと

※2 キャリアアップ … 知識やスキルを身に付けることで能力を向上させ、経歴を高めること

問 20-3 問 20 で「1」を選んだ方のみお答えください。就労条件・自身の環境を理由とする転職動機について、**当てはまるものを全て**選んでください。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 体調不良 | 2 賃金に不満 |
| 3 各種手当（資格・通勤手当等）が充実していない | 4 研修機会・資格取得支援がない |
| 5 他に良い仕事・職場があった | 6 結婚のため |
| 7 出産・育児のため | 8 家族の介護・看護のため |
| 9 自分が成長できない | 10 その他（ ） |

問 21 現在の勤務先で働き続けたいですか。次から**1つだけ**選んでください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 生涯、当該施設で働きたい | ⇒ 問 21-1、問 21-2 へ |
| 2 1、2年で転職を検討している | ⇒ 問 21-3、問 21-4、問 21-5 へ |
| 3 すぐにはではないが、転職を検討している | ⇒ 問 21-3、問 21-4、問 21-5 へ |
| 4 先の事はわからない | |
| 5 その他（ ） | |

問 21-1 問 21 で「1」を選んだ方のみお答えください。労働環境を理由とする働き続けたい理由について、**当てはまるものを全て**選んでください。

- 1 人間関係が良好だから
- 2 仕事と家庭の両立ができるから
- 3 休日（有給休暇等）を取得しやすいから
- 4 キャリアパス（※1）が明確だから
- 5 キャリアアップ（※2）が望めるから
- 6 自身を適正に評価してくれるから
- 7 ICT等を活用した業務効率化が図られているから
- 8 腰痛予防などの身体的負担の軽減がされているから
- 9 運営方針に共感できるから
- 10 その他（ ）

※1 キャリアパス … 目指すべき役職や立場などに到達するために必要なスキルや経験などを示した道筋のこと

※2 キャリアアップ … 知識やスキルを身に付けることで能力を向上させ、経歴を高めること

問 21-5 問 21 で「2」または「3」を選んだ方のみお答えください。現在の勤務先から転職を検討している就労条件・自身の環境に関する理由について、**当てはまるものを全て**選んでください。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 体調不良 | 2 賃金に不満 |
| 3 各種手当（資格・通勤手当等）が充実していない | 4 研修機会・資格取得支援がない |
| 5 他に良い仕事・職場があった | 6 結婚のため |
| 7 出産・育児のため | 8 家族の介護・看護のため |
| 9 自分が成長できない | 10 その他（ ） |

問 22 職場で困りごとがあったときに、相談できる方がいますか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 いる ⇒ 問 22-1 へ
- 2 いない

問 22-1 問 22 で「1」を選んだ方のみお答えください。相談できる方はどなたですか。**当てはまるものを全て**選んでください。

- 1 上司
- 2 同僚
- 3 親・兄弟
- 4 友人
- 5 その他（ ）

問 23 今、困っていることはありますか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 ある ⇒ 問 23-1
- 2 ない

問 23-1 問 23 で「1」を選んだ方のみお答えください。どんなことにお困りですか。

【調査票2 家族等（例：父母、祖父母）向け】（令和6年12月1日現在の内容でご回答ください）

問1 通知文のQRコード上部に記載がある番号を記入してください。

番号

問2 福祉職場で働く方との関係（続柄）を次から**1つだけ**選んでください。

- 1 父
- 2 母
- 3 その他（ ）

問3 福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 良い印象 ⇒ 問3-1、問3-2へ
- 2 悪い印象 ⇒ 問3-3、問3-4へ
- 3 どちらも言えない ⇒ 問3-1、問3-2、問3-3、問3-4へ

問3-1 問3で「1」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や労働環境のどこに良い印象を持っていますか。**当てはまるものを全て**選んでください。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1 利用者やその家族に感謝される | 2 利用者が笑顔になる |
| 3 人や社会に役立つ | 4 利用者に成長してもらうことができる |
| 5 キャリアパス（※1）が明確 | 6 キャリアアップ（※2）が望める |
| 7 能力を反映した人事評価がされている | 8 働く人が成長できる |
| 9 専門性がある | 10 資格や技能が生かせる |
| 11 仕事と家庭の両立ができる | 12 夜勤・宿直が少ない |
| 13 残業が少ない | 14 休日（有給休暇等）を取得しやすい |
| 15 ICT等を活用した業務効率化が図られている | 16 腰痛予防などの身体的負担の軽減がされている |
| 17 その他（ ） | |

※1 キャリアパス … 目指すべき役職や立場などに到達するために必要なスキルや経験などを示した道筋のこと

※2 キャリアアップ … 知識やスキルを身に付けることで能力を向上させ、経歴を高めること

問3-2 問3で「1」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や就労条件のどこに良い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 賃金水準 | 2 各種手当（資格・通勤手当等） |
| 3 働きやすい労働時間（シフト） | 4 研修機会・資格取得の支援 |
| 5 その他（ ） | |

問3-3 問3で「2」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や労働環境のどこに悪い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 キャリアパス（※1）が見えない | 2 キャリアアップ（※2）を望めない |
| 3 能力が正當に評価されない | 4 働く人が成長できない |
| 5 資格や技能が生かせない | 6 人間関係のトラブルがある |
| 7 仕事と家庭の両立ができない | 8 夜勤・宿直が多い |
| 9 残業が多い | 10 休日（有給休暇等）を取得しにくい |
| 11 仕事がきつい（体力的） | 12 仕事がきつい（精神的） |
| 13 ICT等が活用されていない | 14 その他（ ） |

※1 キャリアパス … 目指すべき役職や立場などに到達するために必要なスキルや経験などを示した道筋のこと

※2 キャリアアップ … 知識やスキルを身に付けることで能力を向上させ、経歴を高めること

問3-4 問3で「2」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や就労条件のどこに悪い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 賃金水準 | 2 各種手当（資格・通勤手当等） |
| 3 不規則な労働時間（シフト） | 4 研修機会・資格取得の支援 |
| 5 その他（ ） | |

問4 福祉職場で働く方が福祉の仕事や就労先を決める際、相談がありましたか。次から1つだけ選んでください。

- 1 相談があった ⇒ 問4-1へ
- 2 相談がなかった

問4-1 問4で「1」を選んだ方のみお答えください。福祉職場で働く方から相談があった際、どのようにお答え・アドバイスをしましたか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 前向きに勧めた
- 2 本人の意思を尊重した
- 3 後ろ向きの情報提供・助言を行った ⇒ 問4-2へ
- 4 相談内容によって対応を変えた ⇒ 問4-2へ

問4-2 問4-1で「3」「4」を選んだ方のみお答えください。理由をお聞かせください。

(例：夜勤など労働時間が不規則で、体力的に厳しいため反対した。

福祉業界の就職には賛成だが、その法人で働く親戚から職場の話聞いて反対した。)

問5 家族等が福祉職場に入職する前と入職した後では、福祉の仕事に対するイメージが変わりましたか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 変わった ⇒ 問5-1へ
- 2 変わらない ⇒ 問5-2へ

問5-1 問5で「1」を選んだ方のみお答えください。どのように変わったか教えてください。

(例：労働条件が良い・悪い、身体的・精神的負担が小さい・大きい、DXが進んでいるなど)

問5-2 問5で「2」を選んだ方のみお答えください。元々どのようなイメージだったか教えてください。

(例：労働条件が良い・悪い、身体的・精神的負担が小さい・大きい、DXが進んでいるなど)

問9 福祉の職場がより魅力的に見えるようにするために必要なこと（情報提供その他）、ご意見を自由にお聞かせください。

（例：給料、労働時間・休日・休暇、仕事内容、職場の雰囲気）

ご協力ありがとうございました。

福祉の仕事の“今”を知ってください

リンク①茨城県社会福祉協議会 福祉人材センターHP

<https://x.gd/bt5PZ>

リンク②福祉のお仕事 HP

<https://www.fukushi-work.jp/>

【調査票3 教員等向け】 (令和6年12月1日現在の内容でご回答ください)

※調査の取りまとめにあたり、学校を特定する情報は公表いたしません。

問1 貴校名を教えてください(回答は任意)。

問2 貴校の種別を次から**1つだけ**選んでください。

- 1 中等教育学校
- 2 全日制高等学校
- 3 定時制高等学校
- 4 通信制高等学校
- 5 高等専門学校
- 6 専門学校
- 7 短期大学
- 8 大学

問3 貴校には、令和6年4月1日現在で福祉・医療を専攻する学部・学科がありますか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 福祉(介護・保育も含む)の専攻がある
- 2 医療の専攻がある
- 3 両方の専攻がある
- 4 ない

問4 令和5年度の貴校の卒業者の内、就職者はいますか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 いる ⇒ 問4-1、問4-2へ
- 2 いない ⇒ 問5へ

問4-1 令和5年度の貴校の卒業者の内、就職者数を教えてください。

就職者数 人

問4-2 令和5年度の貴校の就職者で福祉分野に就職した人数を次から**1つだけ**選んでください。

- 1 0人
- 2 1人 ⇒ 問4-3へ
- 3 2～4人 ⇒ 問4-3へ
- 4 5人以上 ⇒ 問4-3へ

問4-3 問4-2で「2」「3」「4」を選んだ方のみお答えください。学生・生徒が就職先を決める際、特定の福祉関係の法人（事業所）に対する相談がありましたか。それとも、福祉業界全体に関する相談がありましたか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 特定の福祉関係の法人（事業所）に対する相談があった ⇒ 問4-4へ
- 2 福祉業界全体に関する相談があった ⇒ 問4-4へ
- 3 両方の相談があった ⇒ 問4-4へ
- 4 相談がなかった

問4-4 問4-3で「1」「2」「3」を選んだ方のみお答えください。学生・生徒からの就職相談があった際、どのような方向で、お答え・アドバイスをしましたか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 相談者全員に前向きに勧めた
- 2 相談者全員に後ろ向きの情報提供・助言を行った ⇒ 問4-5へ
- 3 相談者・内容によって対応を変えた ⇒ 問4-6へ

問4-5 問4-4で「2」を選んだ方のみお答えください。理由をお聞かせください。

(例：夜勤など労働時間が不規則で、体力的に厳しいため反対した。

福祉業界の就職には賛成だが、その法人で働く卒業生等から職場の話聞いて反対した。)

問4-6 問4-4で「3」を選んだ方のみお答えください。相談者・内容によって、どのように対応をすることが多かったですか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 前向きに勧めることが多かった
- 2 後ろ向きの情報提供・助言が多かった

問5 福祉の仕事や労働環境にどのような印象をお持ちですか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 良い印象 ⇒ 問5-1、問5-2へ
- 2 悪い印象 ⇒ 問5-3、問5-4へ
- 3 どちらとも言えない ⇒ 問5-1、問5-2、問5-3、問5-4へ

問5-1 問5で「1」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や労働環境のどこに良い印象を持っていますか。**当てはまるものを全て**選んでください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 利用者やその家族に感謝される | 2 利用者が笑顔になる |
| 3 人や社会に役立つ | 4 利用者に成長してもらうことができる |
| 5 キャリアパス（※1）が明確 | 6 キャリアアップ（※2）が望める |
| 7 能力を反映した人事評価がされている | 8 働く人が成長できる |
| 9 専門性がある | 10 資格や技能が生かせる |
| 11 仕事と家庭の両立ができる | 12 夜勤・宿直が少ない |
| 13 残業が少ない | 14 休日（有給休暇等）を取得しやすい |
| 15 ICT等を活用した業務効率化が図られている | 16 腰痛予防などの身体的負担の軽減がされている |
| 17 その他（ ） | |

※1 キャリアパス … 目指すべき役職や立場などに到達するために必要なスキルや経験などを示した道筋のこと

※2 キャリアアップ … 知識やスキルを身に付けることで能力を向上させ、経歴を高めること

問5-2 問5で「1」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や就労条件のどこに良い印象を持っていますか。**当てはまるものを全て**選んでください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 賃金水準 | 2 各種手当（資格・通勤手当等） |
| 3 働きやすい労働時間（シフト） | 4 研修機会・資格取得の支援 |
| 5 その他（ ） | |

問5-3 問5で「2」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や労働環境のどこに悪い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 キャリアパス（※1）が見えない | 2 キャリアアップ（※2）を望めない |
| 3 能力が正當に評価されない | 4 働く人が成長できない |
| 5 資格や技能が生かせない | 6 人間関係のトラブルがある |
| 7 仕事と家庭の両立ができない | 8 夜勤・宿直が多い |
| 9 残業が多い | 10 休日（有給休暇等）を取得しにくい |
| 11 仕事がきつい（体力的） | 12 仕事がきつい（精神的） |
| 13 ICT等が活用されていない | 14 その他（ ） |

※1 キャリアパス … 目指すべき役職や立場などに到達するために必要なスキルや経験などを示した道筋のこと

※2 キャリアアップ … 知識やスキルを身に付けることで能力を向上させ、経歴を高めること

問5-4 問5で「2」「3」を選んだ方のみお答えください。福祉の仕事や就労条件のどこに悪い印象を持っていますか。当てはまるものを全て選んでください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 賃金水準 | 2 各種手当（資格・通勤手当等） |
| 3 不規則な労働時間（シフト） | 4 研修機会・資格取得の支援 |
| 5 その他（ ） | |

問6 日頃の教育（授業や部活など）の中で、地域の福祉施設・事業所との関わりがありますか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 関わりがある ⇒ 問6-1へ
- 2 関わりはない

問6-1 問6で「1」を選んだ方のみお答えください。その関わりは、次のどちらですか。次から**1つだけ**選んでください。

- 1 キャリア教育
- 2 キャリア教育以外 ⇒ 問6-2へ

問6-2 問6-1で「2」を選んだ方のみお答えください。キャリア教育以外での地域の福祉施設・事業所との関わりについて、その頻度や内容を教えてください。

福祉の仕事の“今”を知ってください

リンク①茨城県社会福祉協議会 福祉人材センターHP

<https://x.gd/bt5PZ>

リンク②福祉のお仕事 HP

<https://www.fukushi-work.jp/>

謝辞

調査にご協力いただいた多くの関係者の皆様へ深く感謝申し上げます。

また、本調査に関しては、茨城大学人文社会科学部 清山 玲 教授に各種調査票の設計や分析にあたって様々な場面で貴重なご助言、ご協力を賜りました。

清山教授をはじめ、本調査の実施にご協力いただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

福祉人材確保に向けた若者と取り巻く関係者への意識等調査報告書
令和7年3月

発行：社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 茨城県福祉人材センター
〒310-8586

茨城県水戸市千波町 1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館
TEL 029-244-4544 FAX 029-244-4543
<https://jinzaibaraki-welfare.or.jp>